

資料編

■ 十日町市地域公共交通活性化協議会の開催概要

開催日	議題
令和4年3月29日	・十日町市地域公共交通活性化協議会設立総会
令和4年8月23日	・十日町市地域公共交通計画策定に向けた各種調査について
令和5年5月26日 書面協議	・令和4年度に実施した各種調査結果（概要）について
令和5年7月20日	・令和4年度に実施した各種調査結果（概要）について ・十日町市地域公共交通計画（骨子案）について
令和5年11月14日	・十日町市地域公共交通計画（素案）について
令和6年2月6日 書面協議	・パブリックコメントの実施結果について ・十日町市地域公共交通計画の策定について

■ 十日町市地域公共交通活性化協議会の委員名簿

＜令和5年7月時点＞

区分	所属団体等	部署・役職等	氏名	備考
計画作成 市町村	十日町市	市長	関口 芳史	会長
公共交通 事業者	越後交通株式会社 十日町営業所	営業所長	外山 幸一	
	南越後観光バス株式会社	乗合営業部次長	武藤 文昭	
	東頸バス株式会社	代表取締役専務	高橋 常雄	
	十日町地区タクシー協会	会長	馬場 大和	
	有限会社東部タクシー	代表取締役社長	村山 達三	
	東日本旅客鉄道株式会社	十日町駅長	山口 勉	
	北越急行株式会社	営業企画課長	村山 正樹	
道路管理者	新潟県十日町地域振興局	地域整備部 維持管理課長	中林 照雅	
公安委員会	十日町警察署	交通課長	渡邊 正和	
利用者	十日町市地域自治組織 連絡協議会	会長	川田 一幸	
	公募委員	—	高橋 知子	
	公募委員	—	金子 宏美	
学識経験者	長岡技術科学大学	環境社会基盤工学専攻教授	佐野 可寸志	副会長
その他必要 と認める者	十日町商工会議所	共立観光株式会社 代表取締役	原田 千佳子	監査員
	十日町市商工会連絡協議会	松代町商工会長	瀬沼 伸彦	
	十日町市老人クラブ連合会	女性部長	南雲 カツミ	
	十日町市地域自立支援協議会	委員	数藤 いずみ	
	新潟県立十日町高等学校 PTA	会長	宮沢 徹也	
	新潟県立十日町病院	事務長	貝瀬 伸一	
	社会福祉法人 十日町市社会福祉協議会	理事	佐藤 幸子	
	一般社団法人十日町市観光協会	副会長	桑原 清	監査員
	新潟県交通運輸産業 労働組合協議会	所員	倉澤 明里	
	国土交通省北陸信越運輸局	交通政策部 交通企画課長	新倉 孝礼	
	国土交通省北陸信越運輸局新潟 運輸支局	首席運輸企画専門官	山田 一輝	
	新潟県十日町地域振興局	地域振興専門員	佐藤 浩幸	

事務局	総務部長	金澤 克夫	
	建設部長	高崎 洋一	
	総務部企画政策課	課長	田辺 貴雄
		課長補佐	渡辺 隆之
		企画政策係長	酒井 潤
企画政策係 主任		吉樂 実代志	

<令和5年7月以前>

区分	所属団体等	部署・役職等	氏名
公共交通事業者	十日町地区タクシー協会	会長	高橋 等
道路管理者	新潟県十日町地域振興局	地域整備部 維持管理課長	宮 拓男
公安委員会	十日町警察署	交通課長	近藤 芳靖
その他必要 と認める者	新潟県立十日町高等学校 PTA	会長	村山 浩一
	国土交通省北陸信越運輸局	交通政策部 交通企画課長	玉巻 史成
	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	島谷 尚之
	新潟県十日町地域振興局	地域振興専門員	小田 亘

事務局	建設部長		吉田 健一
	総務部企画政策課	企画政策係 主査	小島 拓也

■ 評価指標設定の考え方・算出方法

目標① 市民生活に即した公共交通ネットワークの維持

指標① 市民 1 人当たりの地域公共交通の利用回数（鉄道を除く）		
数値目標	現況値（令和 4 年度）	目標値（令和 10 年度）
		6.3 回／年
指標の算定方法	路線バス・市営バス・予約型乗合タクシーの利用者数 ÷ 十日町市の総人口	
データ取得方法	路線バス利用者数：バス事業者保有の乗降データ 市営バス利用者数：十日町市保有の乗降データ 予約型乗合タクシー利用者数：十日町市保有の乗降データ 十日町市の総人口：新潟県推計人口による十日町市の推計人口（4 月 1 日現在）	
指標② 運行効率化を図る路線数		
数値目標	現況値（令和 4 年度）	目標値（令和 10 年度）
	－	6 路線
指標の算定方法	本計画の計画期間（令和 6 年度～10 年度）内に、路線バス、市営バス、予約型乗合タクシーの運行の効率化を図った路線数	
データ取得方法	路線バス：バス事業者保有の実績 市営バス：十日町市保有の実績 予約型乗合タクシー：十日町市保有の実績	

目標② まちづくりと連動した公共交通ネットワークの構築

指標③ 公共交通に関する満足度		
数値目標	現況値（令和 5 年度）	目標値（令和 9 年度）
		19.0%
指標の算定方法	十日町市が 2 年に一度実施している、総合計画に関する市民アンケートの公共交通の施策に対する満足度（「満足」と「やや満足」の回答割合の合算）	
データ取得方法	総合計画に関する市民アンケート結果：十日町市保有の実績	

目標③ 持続的な公共交通サービスの提供

指標④ 公共交通に係る利用者1人当たりの市の財政負担額		
数値目標	現況値（令和4年度）	目標値（令和10年度）
		449円
指標の算定方法	路線バスの運行を維持するために十日町市が支出している補助金・市営バスおよび予約型乗合タクシーの運行に係る経費÷路線バス・市営バス・予約型乗合タクシーの利用者	
データ取得方法	路線バス：バス事業者保有の実績、乗降データ 市営バス：十日町市保有の実績、乗降データ 予約型乗合タクシー：十日町市保有の実績、乗降データ	
指標⑤ 公共交通に係る収支率		
数値目標	現況値（令和4年度）	目標値（令和10年度）
	路線バス：41.6% 市営バス：2.6% 予約型：8.3%	路線バス：現況値を上回る 市営バス：現況値を上回る 予約型：現況値を上回る
指標の算定方法	路線バス：全系統の経常収益÷全系統の経常費用×100 市営バス：全路線の使用料収入÷全路線の運行経費×100 予約型乗合タクシー：全路線の利用料収入÷全路線の運行経費×100	
データ取得方法	路線バス：バス事業者保有の実績 市営バス：十日町市保有の実績 予約型乗合タクシー：十日町市保有の実績	
指標⑥ 運行事業者における運転手の採用人数		
数値目標	現況値（令和4年度）	目標値（令和10年度）
	—	交通事業者における退職する運転手数と同数
指標の算定方法	市内を運行する路線バス事業者、タクシー事業者、市営バスを運行する事業者が採用した運転手の人数	
データ取得方法	路線バス：バス事業者保有の実績 タクシー：タクシー事業者保有の実績 市営バス：運行する事業者保有の実績	

目標④ 公共交通の利便性向上および利用促進

指標⑦ 利便性向上や利用促進に効果的な市の取組実施数		
数値目標	現況値（令和4年度）	目標値（令和10年度）
	－	5取組
指標の算定方法	本計画の計画期間（令和6年度～10年度）内に、十日町市が行う利便性向上や利用促進の取組において、検証した結果、効果的であると認められた取組数	
データ取得方法	利便性向上や利用促進の取組：十日町市保有の実績	
指標⑧ 市民1人当たりの地域公共交通の利用回数（鉄道を除く）		
数値目標	現況値（令和4年度）	目標値（令和10年度）
	6.3回／年	7回／年
指標の算定方法	路線バス・市営バス・予約型乗合タクシーの利用者数÷十日町市の総人口	
データ取得方法	路線バス利用者数：バス事業者保有の乗降データ 市営バス利用者数：十日町市保有の乗降データ 予約型乗合タクシー利用者数：十日町市保有の乗降データ 十日町市の総人口：新潟県推計人口による十日町市の推計人口（4月1日現在）	

■ 各種調査結果の概要

(1) 市民アンケート

① 調査の実施概要

項目	内容
調査目的	・ 市民の日常生活における移動実態や公共交通の利用状況、問題点などを把握するため、市民を対象にアンケートを実施。
調査方法	・ 郵送配布、郵送回収、WEB アンケートを併用
調査対象	・ 市内の 18 歳以上 85 歳以下の市民から無作為抽出
調査項目	・ 回答者の基本属性 ・ 普段の移動状況（買い物、通院、通勤・通学） ・ 公共交通の利用状況 ・ 免許証の返納意志 ・ 今後の市内の公共交通
調査時期	・ 令和 4 年 9 月 30 日（金）～10 月 20 日（木）
配布数・回収状況	・ 配布数：2,000 票 ・ 回収数：1,053 票（郵送回収：914 票、WEB 回答 139 票） ・ 回収率：52.7%

【WEB 調査の実施】

調査票と併せてお送りした依頼文にWEBアンケートにリンクするQRコードを添付して、WEBでも回答が可能なるように実施した。

十日町市の地域公共交通に関する「市民アンケート」のお願い

いつも十日町市の交通行政に対しご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、十日町市の公共交通は、JR 飯山線とほくほく線が市内を南北と東西にそれぞれ運行しているほか、高速バスが十日町市と新潟市間、路線バスが近隣市町間を広域的に結んでいます。また、集落の交通手段を確保するため、市営バスや予約型乗合タクシーも運行しております。

十日町市では皆様により良い公共交通サービスが提供できるよう、様々な取り組みを行ってまいりましたが、高齢化の進行に加え、交通環境、社会環境が大きく変動しており、この先を見据えた公共交通の取り組みが必要となっております。今後皆様にとってより利便性の高い公共交通サービスが提供できるよう、皆様のご意見をお伺いしたいと考えております。

本アンケートは、市民の皆様現在の移動状況や市の公共交通へのお考えなどを把握し、公共交通施策の取り組みを検討するための基礎資料とすることを目的としています。

アンケートの趣旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。

問合せ先 十日町市地域公共交通活性化協議会
(事務局：十日町市企画政策課) 電話：025-757-3193

＜アンケートの記入にあたって＞

- ◆無記名ですので、調査票や返信用封筒に氏名を書く必要はありません。
- ◆字が小さくて読めない、不在など、アンケートを受け取られた方が回答しづらい、できない場合は、**家族の方、もしくは代理の方がアンケートに回答いただいても構いません。**
- ◆ご回答いただいたアンケートは、同封の返信用封筒（切手不要）に**2024年10月20日（木）**までにお近くのポストへ投函して下さい。
- ◆また、左記のQRコードからWEBによるアンケートの回答も可能ですので、どちらでも、回答しやすい方法での回答をお願いします。
- ◆なお、WEBで回答された方は、返信用封筒でアンケートを投函する必要はありません。



このアンケートは、18歳以上の市民の皆様の中から2,000人を選別して抽出し、お送りしております。
* ご回答いただいた結果は、十日町市の公共交通施策の取り組みを検討するための基礎資料とする目的以外に使用することはありません。



2-2. 通院についておたずねします。

問 10	通院されていますか。(通院されている場合は、最も多く行くところ 1 つ、通院していない場合は「15. 通院していない」に○)				
	1. 十日町地域	2. 川西地域	3. 中里地域	4. 松代地域	5. 松之山地域
	6. 長岡市	7. 小千谷市	8. 魚沼市	9. 南魚沼市	10. 津南町
	11. 上越市	12. 柏崎市	13. 湯沢町	14. その他 ()	
	15. 通院していない →問 13 へ				

問 11	どのくらいの頻度で行きますか。(あてはまるもの 1 つに○)				
	1. ほぼ毎日	2. 週5日	3. 週3日~4日	4. 週1日~2日	5. 月に数日
	6. その他 ()				

問 12	行きと帰りで最も利用する交通手段は何ですか。(行きと帰りであてはまる番号 1 つ記入)				
	1. 徒歩	2. 自転車	3. 自家用車(自分で運転)	4. 自家用車(送迎)	
	5. 路線バス	6. 市営バス	7. JR飯山線	8. ほくほく線	
	9. 予約型乗合タクシー	10. タクシー	11. その他 ()		
	行き:() 帰り:() ※行きと帰りは同じ番号でも違う番号でもかまいません。				

2-3. 通勤・通学(大学・専門学校・予備校等)についておたずねします。

問 13	通勤・通学されていますか。(通勤・通学されている場合は、通勤・通学先の地域・市町に 1 つ、通勤・通学していない場合は「15. 通勤・通学していない」に○)				
	1. 十日町地域	2. 川西地域	3. 中里地域	4. 松代地域	5. 松之山地域
	6. 長岡市	7. 小千谷市	8. 魚沼市	9. 南魚沼市	10. 津南町
	11. 上越市	12. 柏崎市	13. 湯沢町	14. その他 ()	
	15. 通勤・通学していない →問 16 へ				

問 14	どのくらいの頻度で行きますか。(あてはまるもの 1 つに○)				
	1. ほぼ毎日	2. 週5日	3. 週3日~4日	4. 週1日~2日	5. 月に数日
	6. その他 ()				

問 15	行きと帰りで最も利用する交通手段は何ですか。(行きと帰りであてはまる番号 1 つ記入)				
	1. 徒歩	2. 自転車	3. 自家用車(自分で運転)	4. 自家用車(送迎)	
	5. 路線バス	6. 市営バス	7. JR飯山線	8. ほくほく線	
	9. 予約型乗合タクシー	10. タクシー	11. その他 ()		
	行き:() 帰り:() ※行きと帰りは同じ番号でも違う番号でもかまいません。				

2-4. 各目的で移動する際に困っていることについておたずねします。

問 16	移動する際に、最も困っていることは何ですか。(目的毎に選択肢の中からあてはまるものを 1 つ選び番号を記入。「6.その他」の場合は内容を記述。)		
選択肢	1. 利用できる路線バス・市営バスが無い(不便)	2. 利用できる鉄道が無い(不便)	
	3. 自由に使える自動車が無い	4. 送迎してもらえない(難しい)	
	5. 特に困っていることは無い	6. その他 ()	
目的	日頃の買い物	通院	通勤・通学 (大学・専門学校・予備校等)
選択肢の番号			

3. 市内の公共交通についておたずねします。

問 17	日頃、市内を走る公共交通をどの程度利用しますか。 (公共交通毎に、選択肢の中からあてはまるものを選び番号を記入)					
選択肢	1. ほぼ毎日 5. 月に数回	2. 週5日 6. 年に数回	3. 週3日～4日 7. 休日のみ利用	4. 週1日～2日 8. 利用しない		
公共交通	JR飯山線	ほくほく線	路線バス	市営バス	注)予約型 乗合タクシー	タクシー
選択肢の番号						

注) 予約型乗合タクシー：路線バスが廃止となった地域等を対象に、市が運行している乗合タクシー。
(運行地域(路線名)：美佐島、飛渡、真田、鍛柄沢、当間、八箇、仙田・山ノ根、木落、原町・新里)

問 18	公共交通を利用する目的はなんですか。 (公共交通毎に、選択肢の中からあてはまるものを1つ選び番号を記入。「8. その他」 の場合は内容を記述。)					
選択肢	1. 通勤 5. 公共施設	2. 通学 6. 趣味・娯楽	3. 買物 7. 利用しない	4. 通院 8. その他 ()		
公共交通	JR飯山線	ほくほく線	路線バス	市営バス	注)予約型 乗合タクシー	タクシー
選択肢の番号						

問 19	移動する際の主な交通手段として、路線バスや市営バスを利用されますか。 (あてはまるもの1つに○)					
1. 路線バスを利用する 2. 市営バスを利用する 3. 路線バスも市営バスも利用する →1, 2, 3に○をつけた方は問20(次の設問)へ						
4. 路線バスも市営バスも利用しない →問22へ						

問 20	路線バス、市営バスを利用して目的地に行く際、乗降の多いバス停は何処ですか。 ()内にバス停名、わからない場合は地名や施設名等を記入してください。					
・乗車バス停もしくは地名・施設名等 ()						
・降車バス停もしくは地名・施設名等 ()						

問 21	路線バス、市営バスを利用する理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)					
1. バス停が近い 2. 目的地の近くまで行くルートがあるから 3. 運賃が安い						
4. 家族、友人等に送迎を頼みづらい 5. 乗り降りがしやすい						
6. 足や身体が弱い 7. 雨や積雪、猛暑の日でも出かけられる						
8. 車を運転できない、しづらい 9. その他 ()						

→問23へ

問 22	路線バス、市営バスを利用しない理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)					
1. 家の近くにバス停がない 2. 目的地の近くまで行くルートがない 3. 運賃が高い						
4. 家族、友人等の送迎で移動している 5. 乗り降りがしづらい						
6. 鉄道との乗継ぎがしづらい 7. バスとの乗継ぎがしづらい						
8. 時間通りにバスが来ない 9. 使いたい時間にバスがない						
10. 車で自由に移動できる 11. その他 ()						

4. 自動車の運転についておたずねします。

問 23 ご自身は運転されますか。(あてはまるもの 1 つに○)

1. 運転する 2. 以前から運転しない 3. 以前は運転していたが今は運転しない

※65 歳以上の方だけお答えください。(65 歳未満の方は問 26 へ)

問 24 運転免許証の返納についておたずねします。運転免許証を返納する意志はありますか。(あてはまるものに○をつけ、ある場合は返納予定を記載)

1. ある ⇒ 返納予定について、概ね () 年後を予定 →問 25 へ
2. ない →問 26 へ
3. 既に返納した、元々免許証は持っていない →問 26 へ

※運転免許証を返納する意思が「ある」方におたずねします。

問 25 運転免許証返納後に利用されると思われる交通手段は何ですか。(あてはまるもの 1 つに○)

1. 徒歩 2. 自転車 3. 家族等の送迎 4. 路線バス 5. 市営バス
6. JR 飯山線 7. ほくほく線 8. 予約型乗合タクシー 9. タクシー 10. その他()

5. 今後の市内の公共交通について

問 26 今後、どのような公共交通が望ましいと思いますか。(望ましい順に 3 つ、ご記入ください。)

望ましい順	①		②		③	
-------	---	--	---	--	---	--

1. 現在よりも運行本数は少なくても構わないので、運賃を下げしてほしい
2. 現在よりも運賃を上げても構わないので、1 日の運行本数を多くしてほしい
3. 自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい
4. 朝の運行本数を多くしてほしい(日中や夕の運行本数は少なくなっても構わない)
5. 夕の運行本数を多くしてほしい(日中や朝の運行本数は少なくなっても構わない)
6. 日中の運行本数を多くしてほしい(朝夕の運行本数は少なくなっても構わない)
7. 毎日運行しなくても良いので、運行日は現在よりも運行本数を多くしてほしい
8. 現在よりも運行本数は少なくても構わないので、目的地まで 1 つの交通手段で行けるようにしてほしい
9. 現在よりも運賃は高くなっても構わないので、目的地まで 1 つの交通手段で行けるようにしてほしい
10. 鉄道と路線バス、路線バス同士など、複数の交通手段を乗り継いでも構わないので、色々な目的地に公共交通で行けるようにしてほしい
11. 市街地(主要施設など)を周る循環バスを運行してほしい
12. キャッシュレス決済など、支払い時の利便性を高めてほしい
13. 現在のバスの走行位置が分かるシステムを入れてほしい

6. その他

問 27 移動する際に困っていることや、十日町市の公共交通等について、その他ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

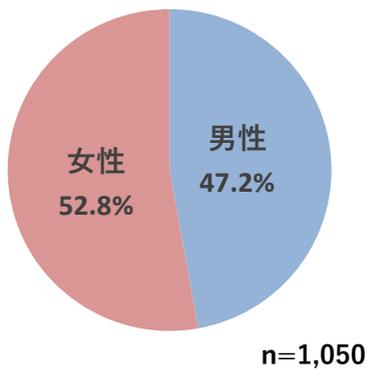
アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

③ 調査結果

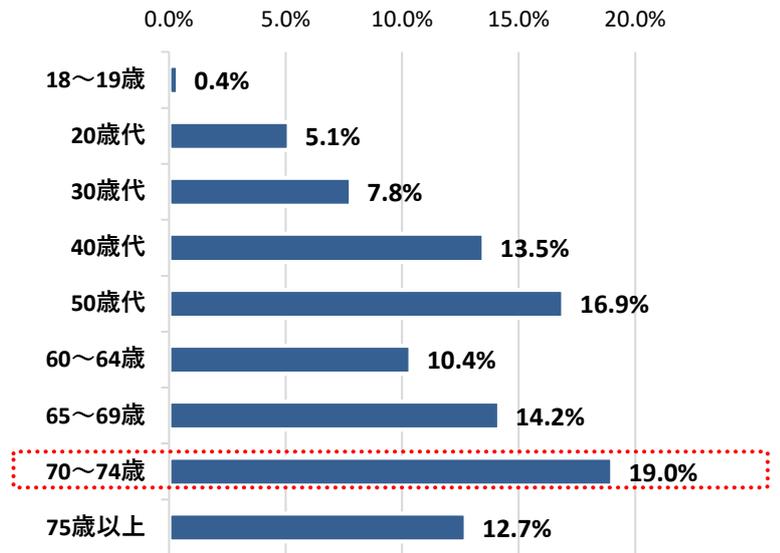
<回答者の基本属性>

- ・男性と女性の比率は概ね半々で、男性が47.2%、女性が52.8%となっている。
- ・年齢は70～74歳の割合が最も多く、65歳以上で4割以上を占めている。
- ・住まいについては、十日町(十日町中学校区)の回答者が最も多く、全体の13.2%を占める。

【性別】

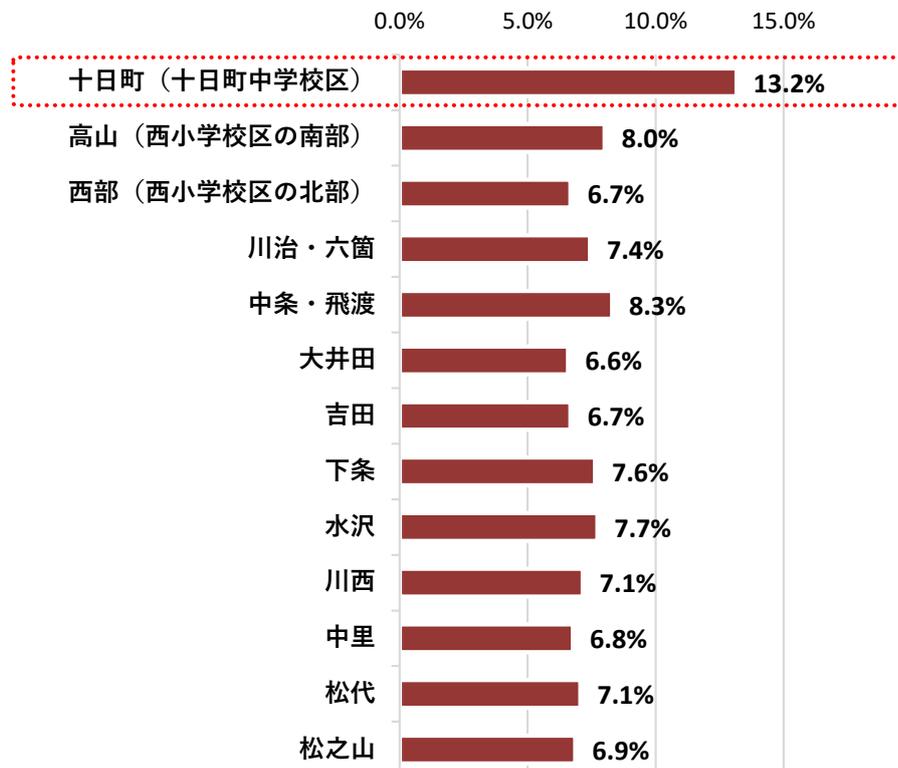


【年齢】



n=1,052

【住まい】



n=1,052

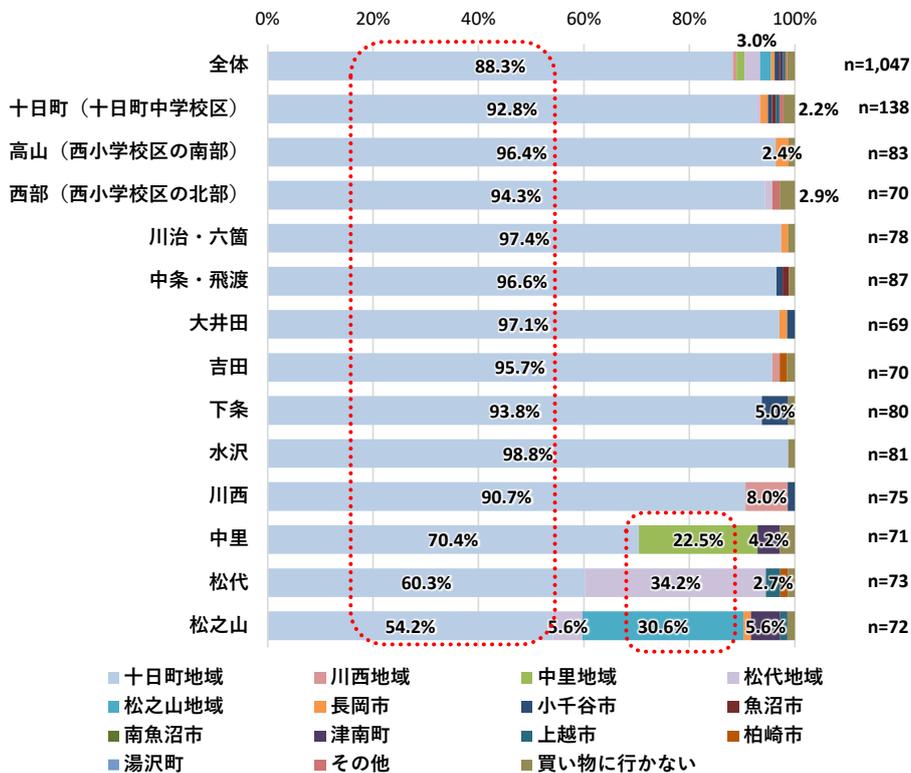
< 普段の移動状況 >

■ 買い物

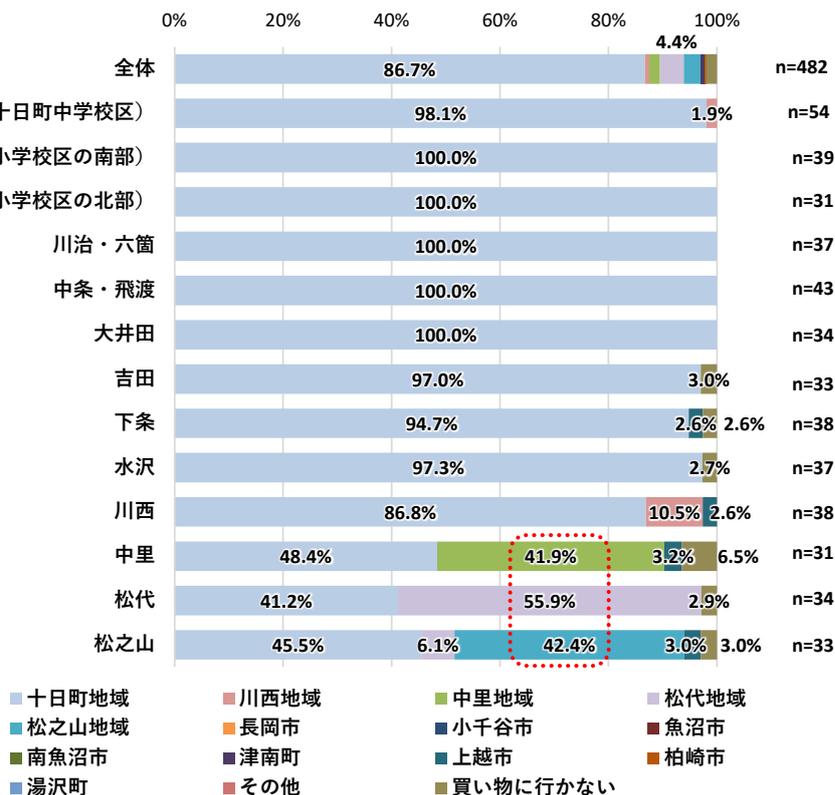
・買い物に行く場所は、どの地区でも「十日町市地域」への買い物が多いものの、中里、松代、松之山では、住まいと同地域も多くなっている。特に 65 歳以上の中里、松代、松之山では、住まいと同地域の割合が全年齢に比べて多くなっている。

【場所】

(全年齢)



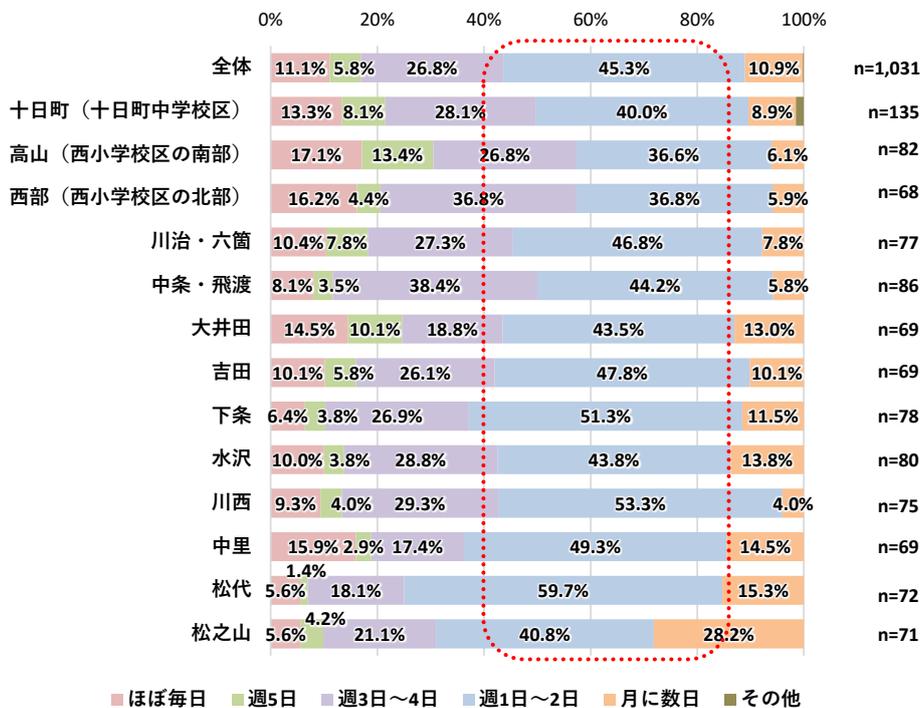
(65 歳以上)



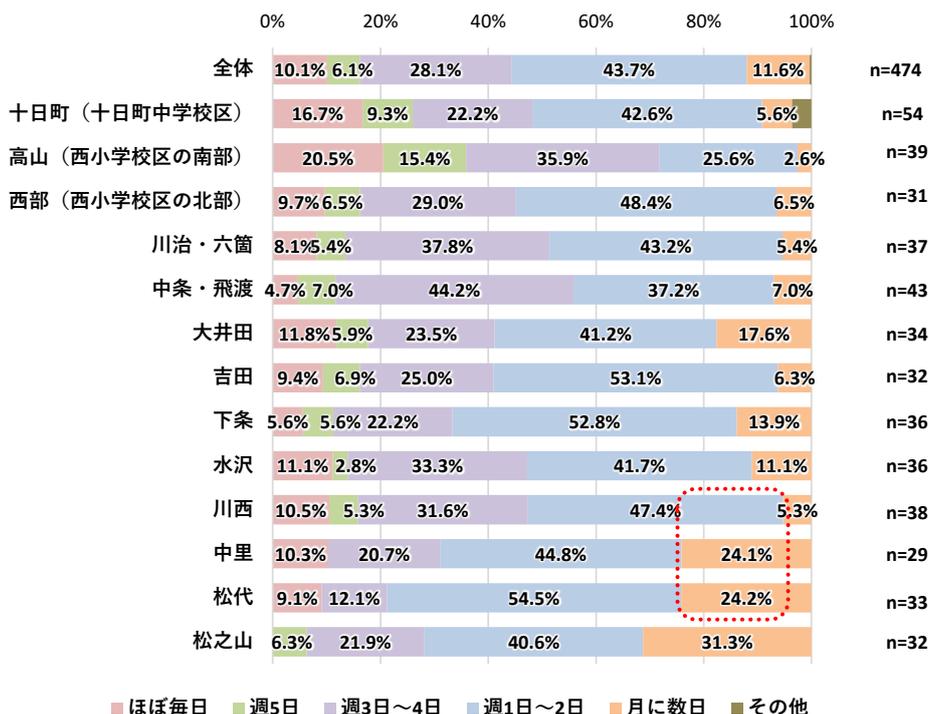
- ・買い物の頻度は、どの地区でも「週1日～2日」が多く、次いで「週3日～4日」が多くなっているが、65歳以上の場合を見ると、中里、松代、松之山では「月に数日」が「週1日～2日」に次いで多くなっている。
- ・65歳以上の高齢者では、外出頻度が減少し、移動時間のかからない住まいの地域で買い物を済ませる傾向が伺える。

【頻度】

(全年齢)



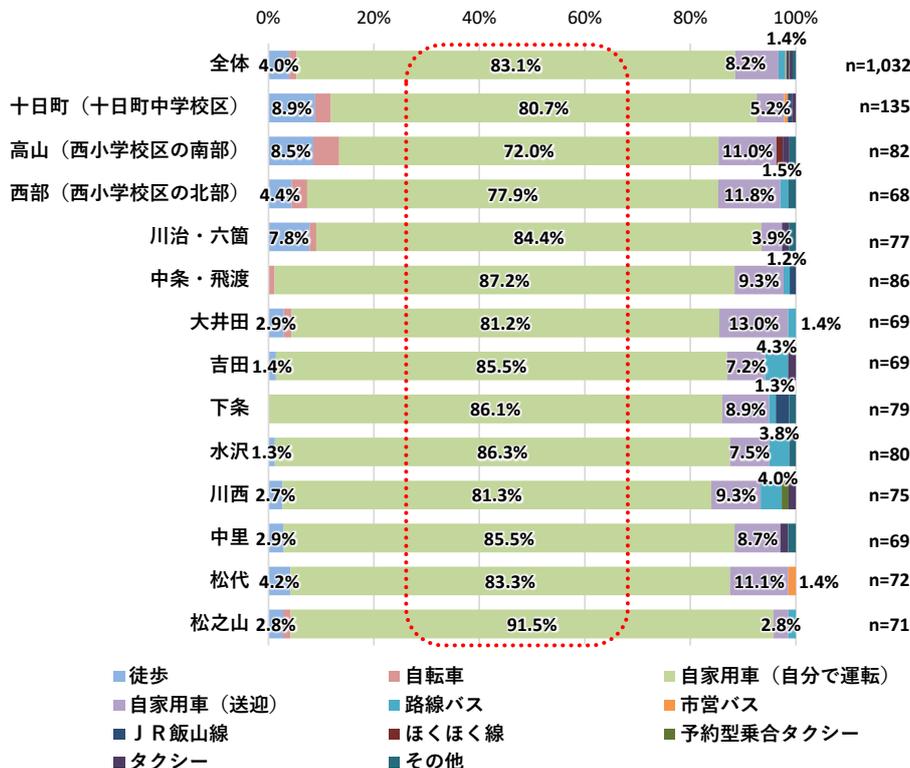
(65歳以上)



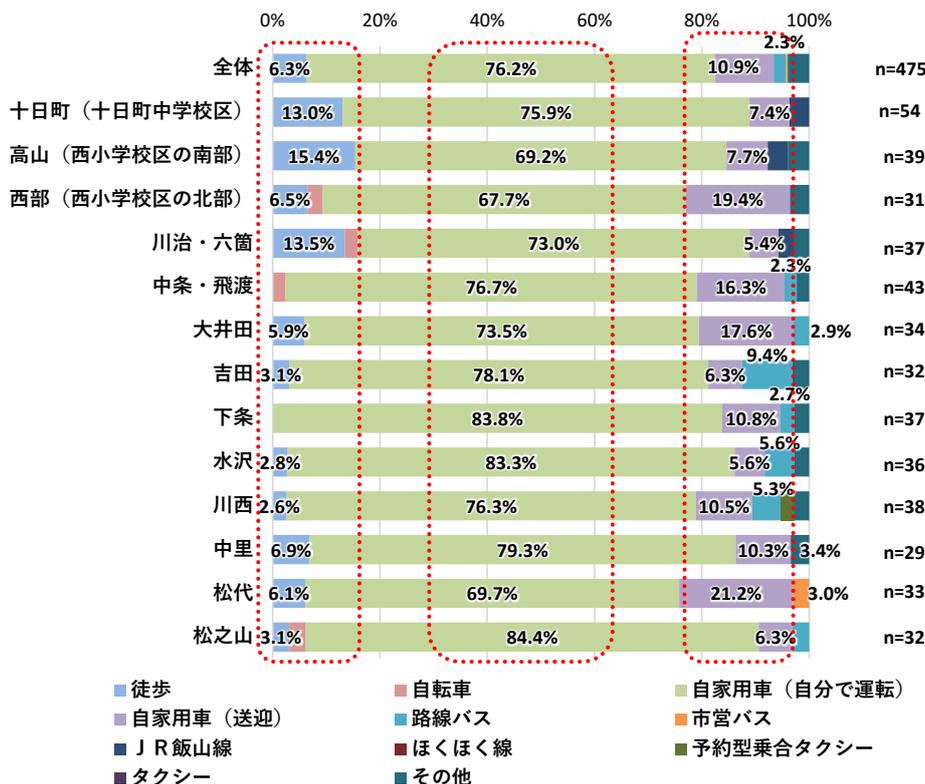
- ・利用交通手段としては、どの地区でも「自家用車(自分で運転)」が8割以上を占めているが、65 歳以上では「自家用車(自分で運転)」の割合が減少し、「徒歩」や「自家用車(送迎)」、「路線バス」などが増加している。
- ・65 歳以上の高齢者では、自家用車を自分で運転することも少なくなり、路線バス等の他の交通手段の必要性が高まるものと思われる。

【利用交通手段】

(全年齢)



(65 歳以上)

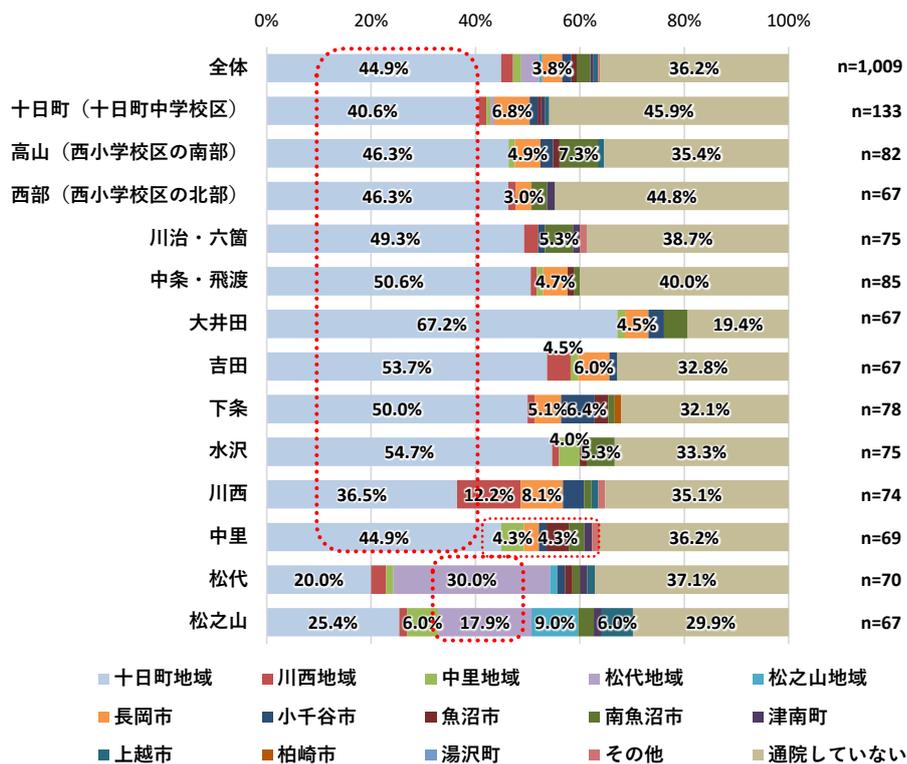


■通院

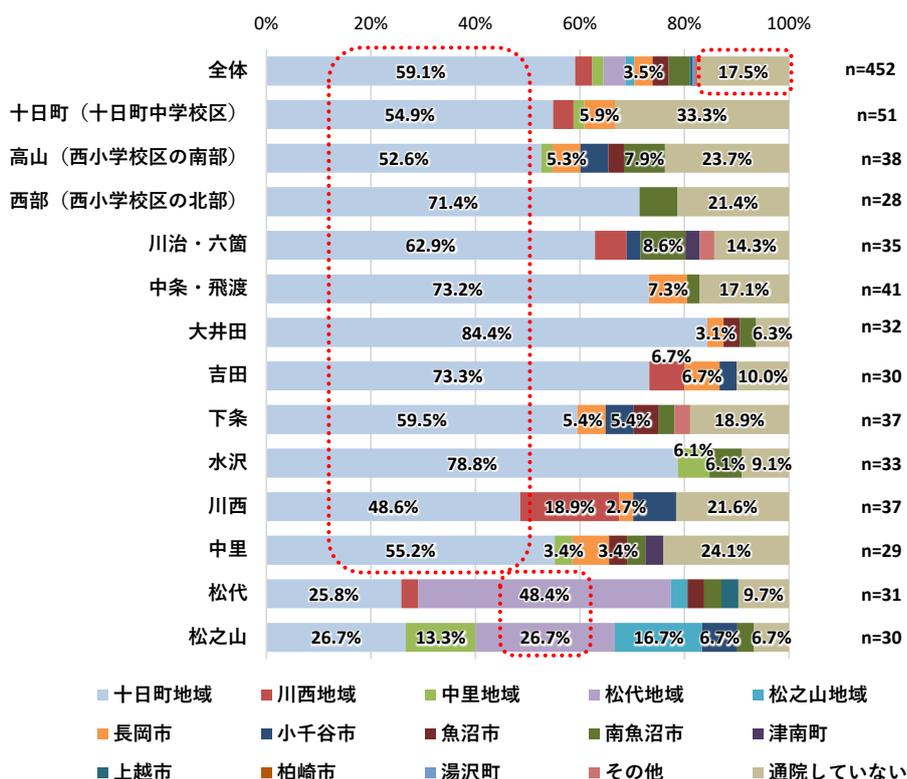
- ・通院先(「通院していない」を除く)の場所としては、松代を除き、「十日町地域」が最も多く、特に大井田では、「十日町地域」が7割近くを占めている。一方、川西では川西地域、松代や松之山では松代地域の割合も高く、松代では最も多い30.0%を占めている。また、市外への通院では南魚沼市や長岡市等への通院が見られ、特に高山では南魚沼市、川西では長岡へ約1割が通院している。
- ・65歳以上の高齢者では、「通院していない」が全体で2割以下に減少、通院先は全体的に「十日町地域」が多いものの、松代や松之山では松代地域の割合が増加。特に高齢者では松代、松之山からは「新潟県立松代病院」といった住まいの地域からアクセスの良い病院へ通院しているものと思われる。

【場所】

(全年齢)



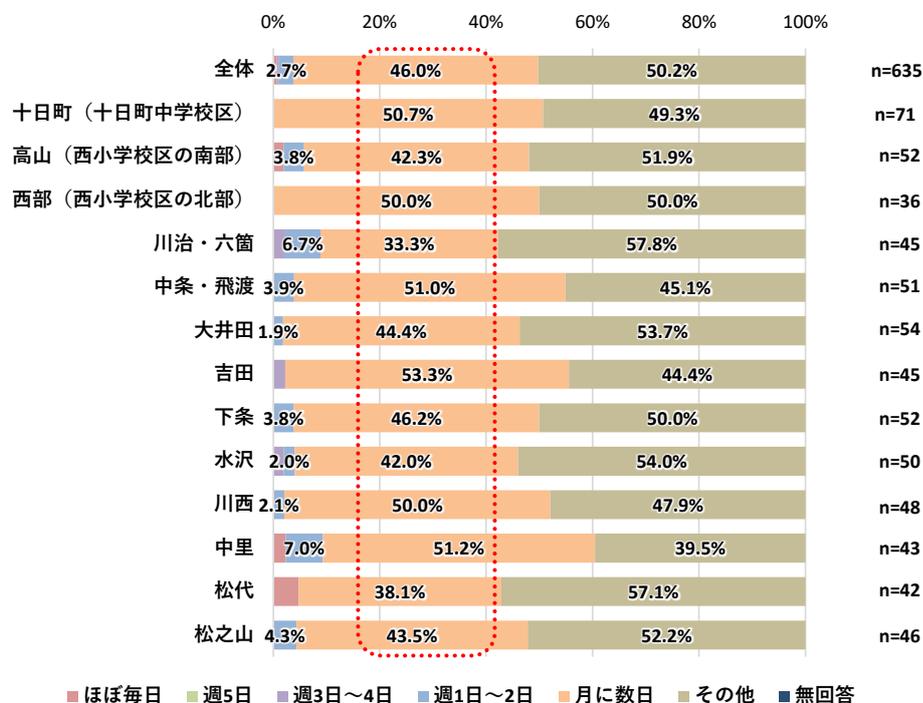
(65歳以上)



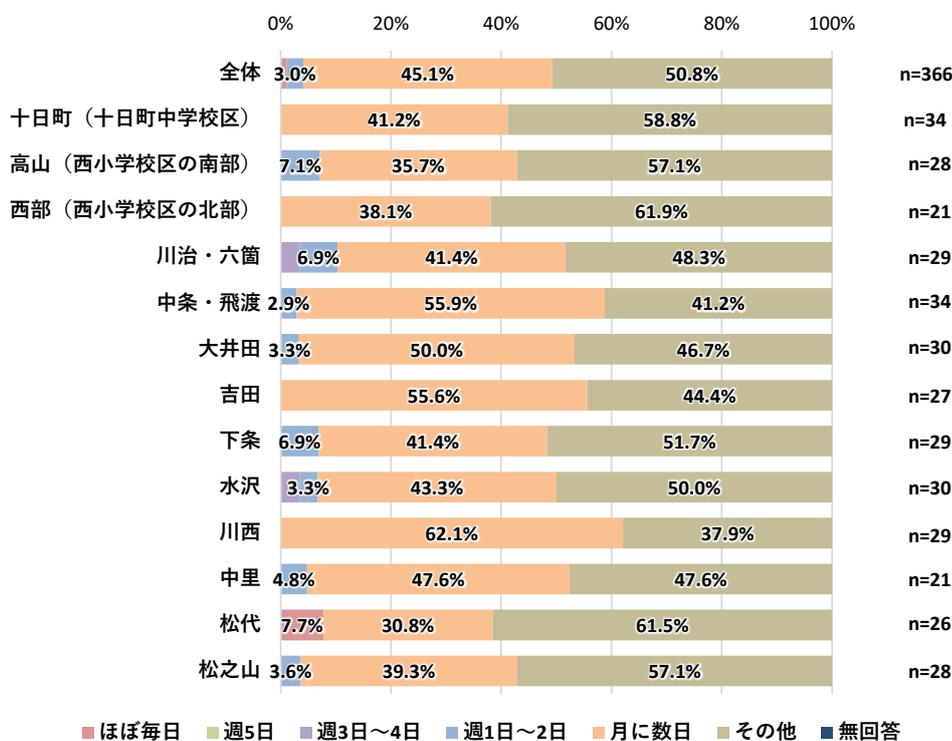
・通院の頻度は、その他を除き、「月に数日」が多く見られ、通院目的の頻度は低くなっている。※その他（年に数日、数か月に1回など）

【頻度】

(全年齢)



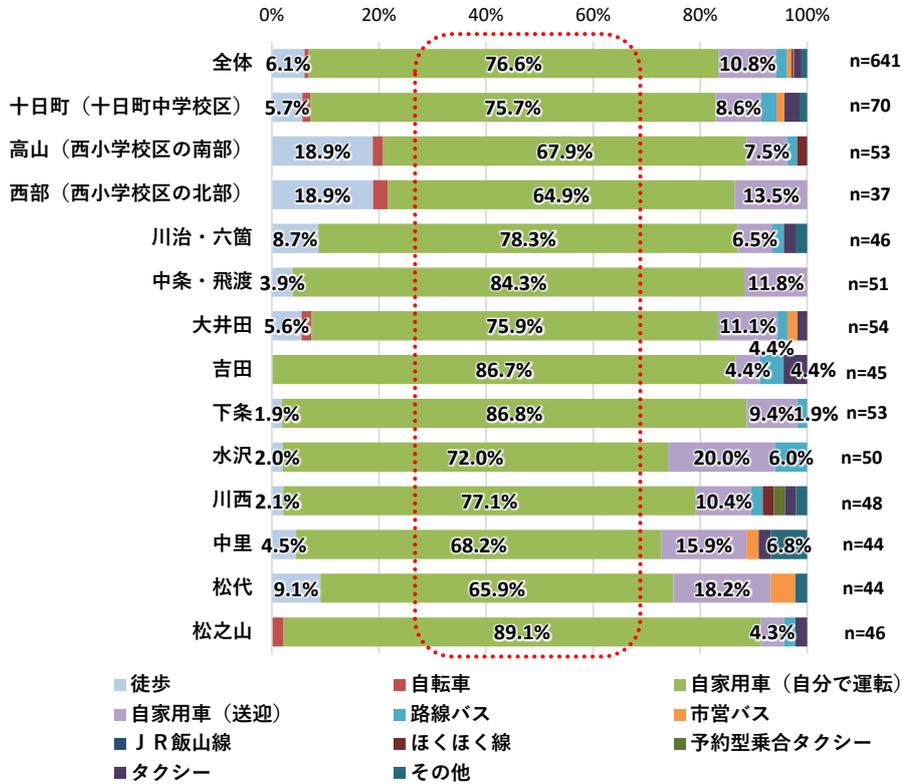
(65歳以上)



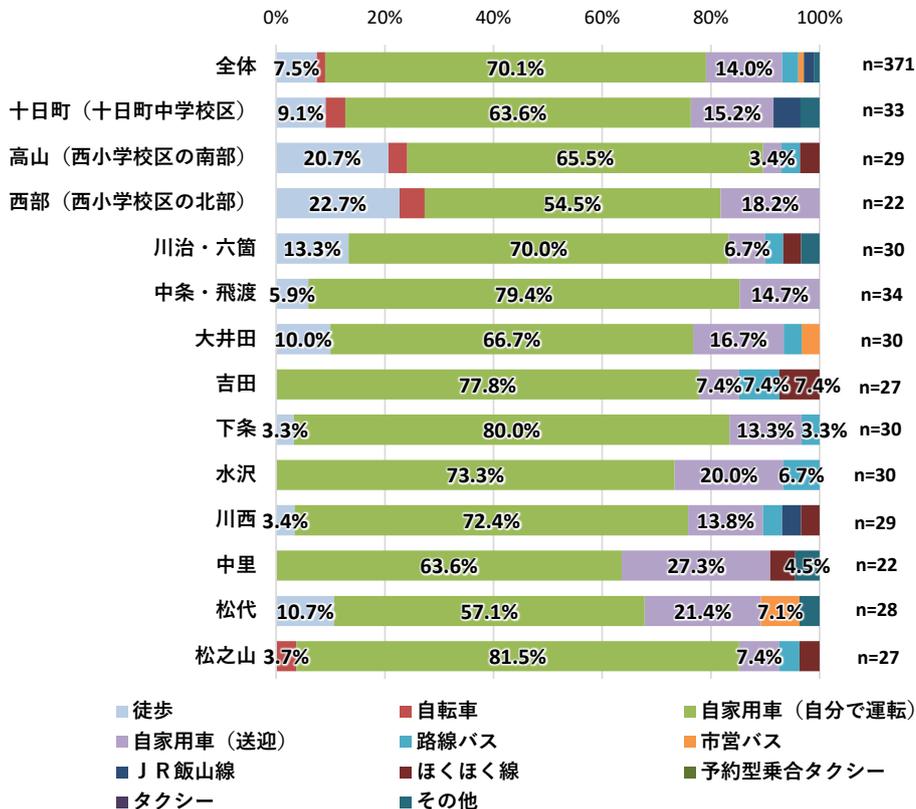
・利用交通手段としては、どの地区でも「自家用車(自分で運転)」が6割以上で最も多いものの、「自家用車(送迎)」も若干見られる。

【利用交通手段】

(全年齢)



(65 歳以上)

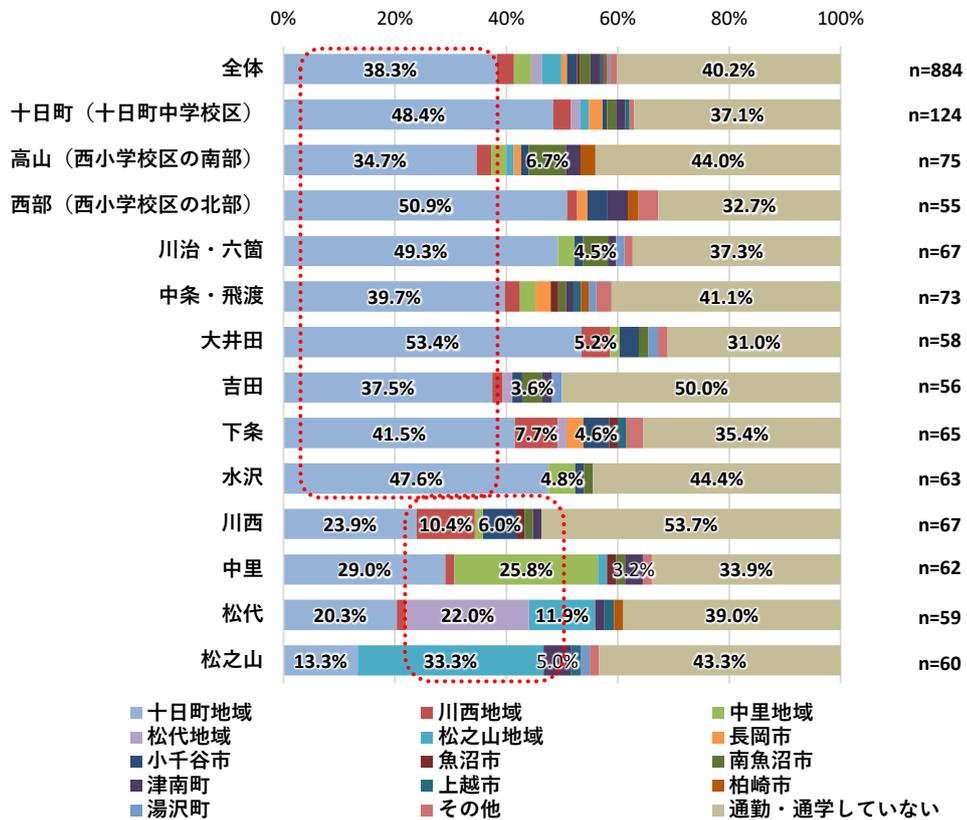


■通勤・通学

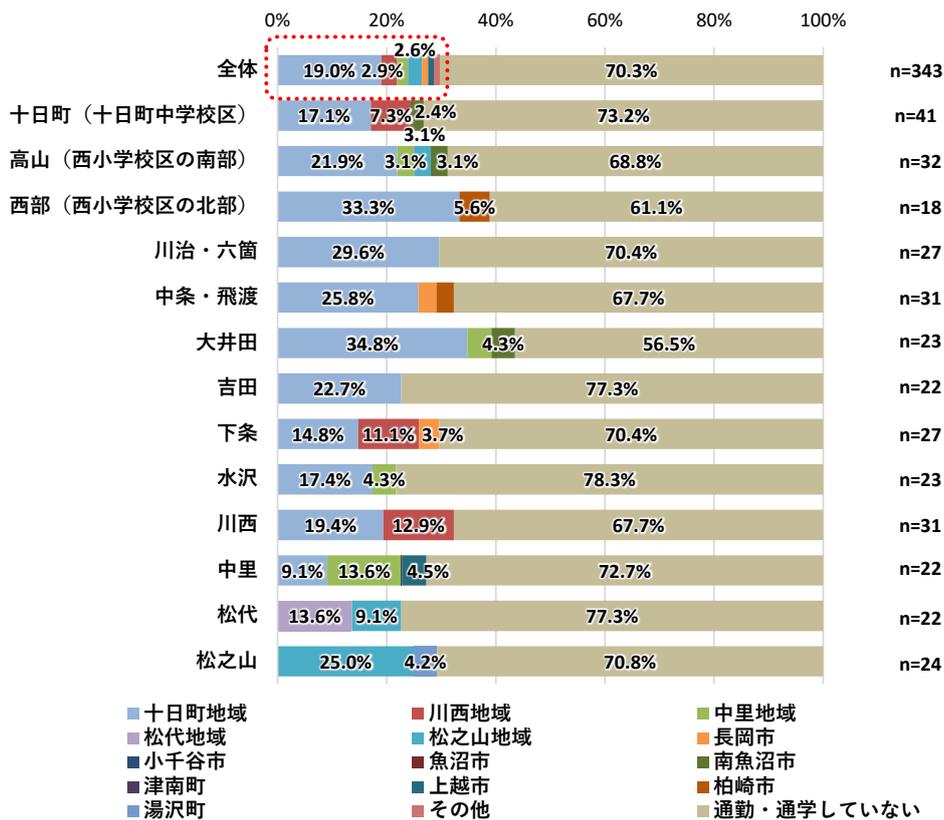
・通勤・通学先(「通勤・通学していない」を除く)の場所としては、「十日町地域」が最も多い地区が多いものの、中里、松代、松之山では住まいと同地域も多く、十日町地域とは別に通勤・通学エリアが形成されている。
 ・65歳以上では、通勤している割合が減少している。

【場所】

(全年齢)



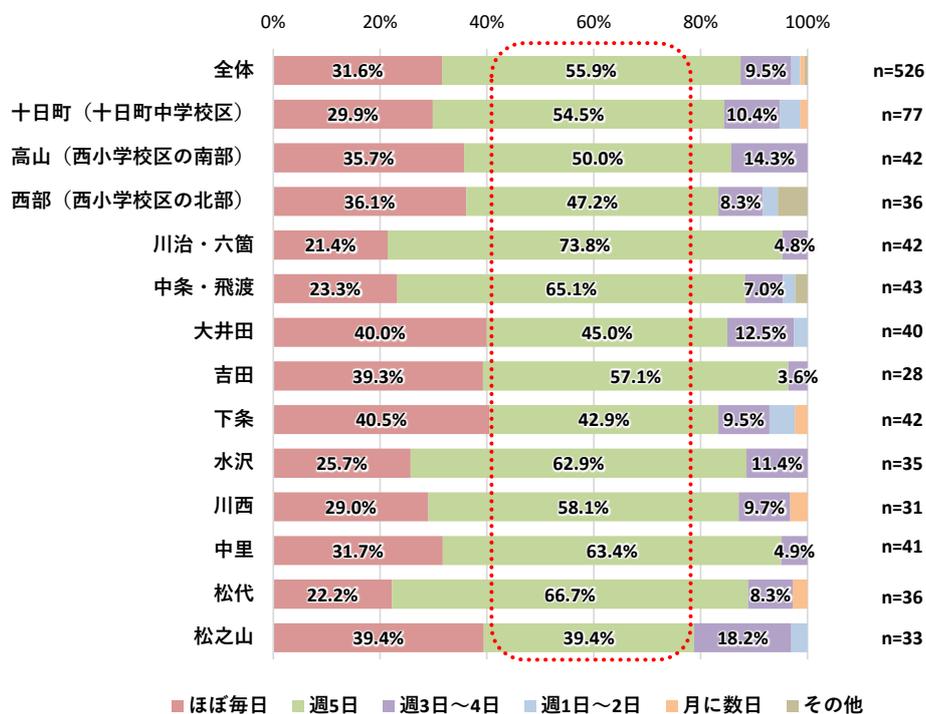
(65歳以上)



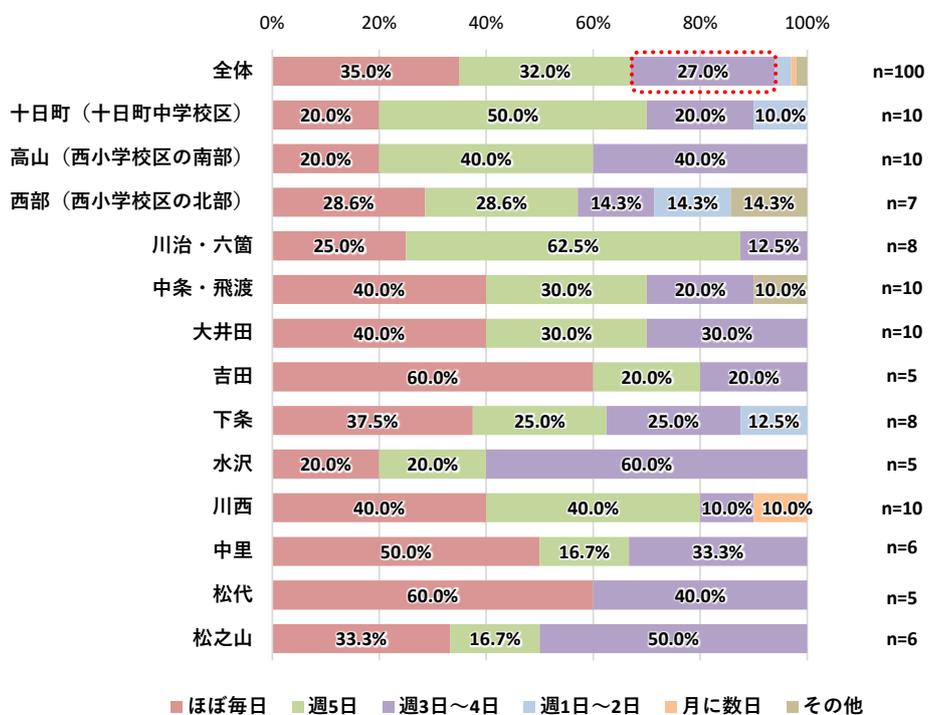
・地区によって若干の差はあるものの、どの地区でも「ほぼ毎日」、「週5日」が多くなっている。

【頻度】

(全年齢)



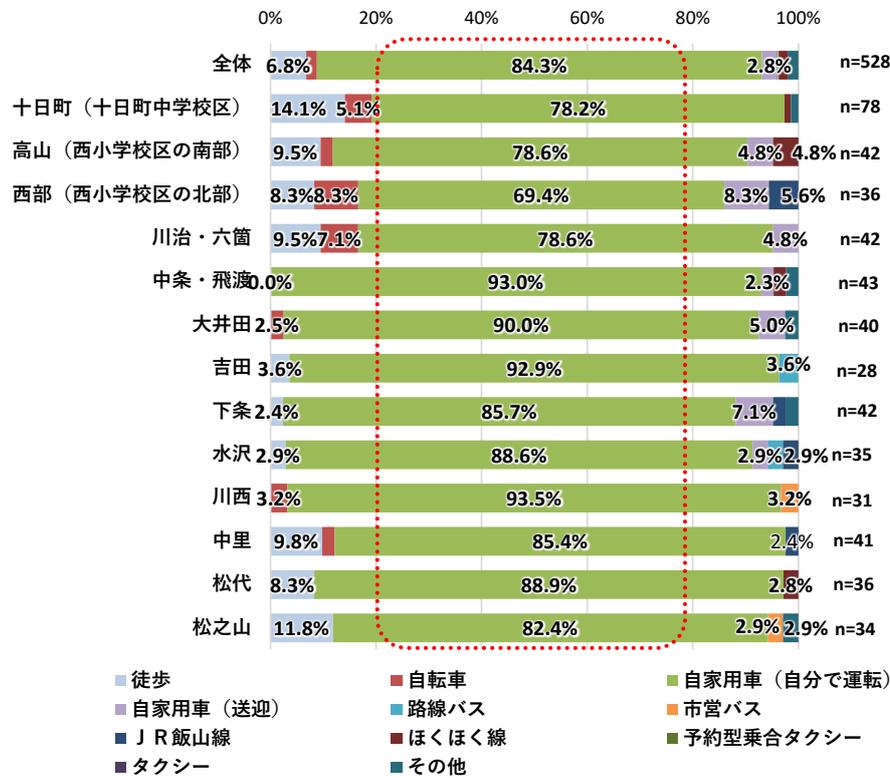
(65歳以上)



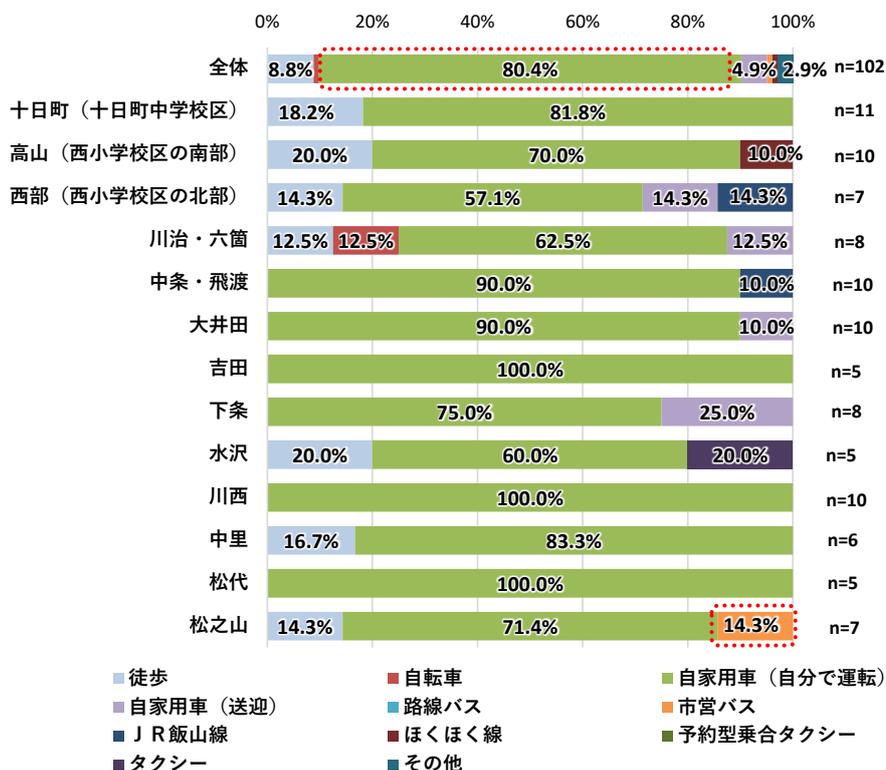
- ・利用交通手段としては、「自家用車(自分で運転)」が8割以上を占めている地区が多く見られる。
- ・65 歳以上では、全体的に「自家用車(自分で運転)」の割合が減少し、松之山では利用交通手段として「市営バス」が増加しており、高齢者では公共交通の必要性が高い傾向が伺える。

【利用交通手段】

(全年齢)



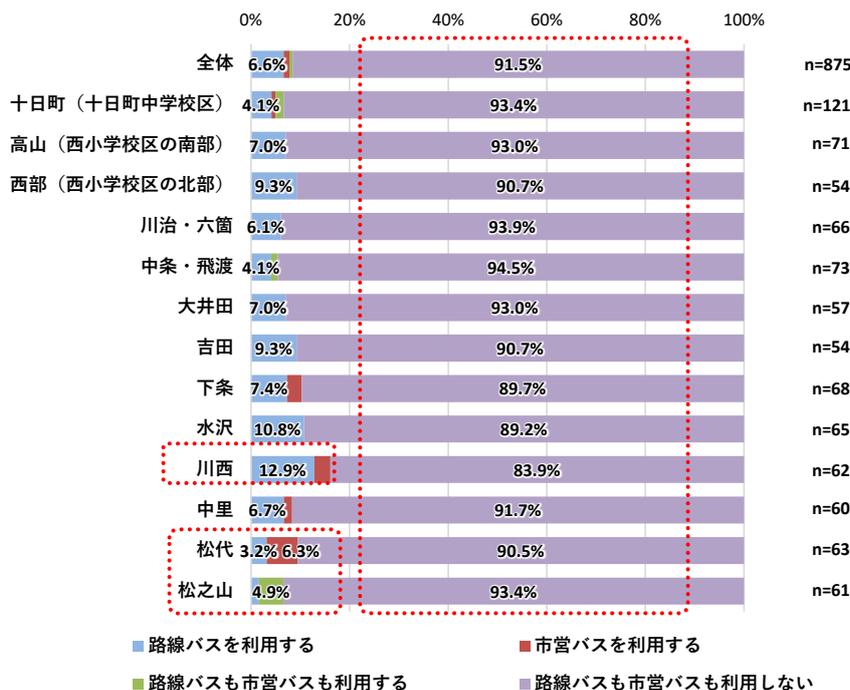
(65 歳以上)



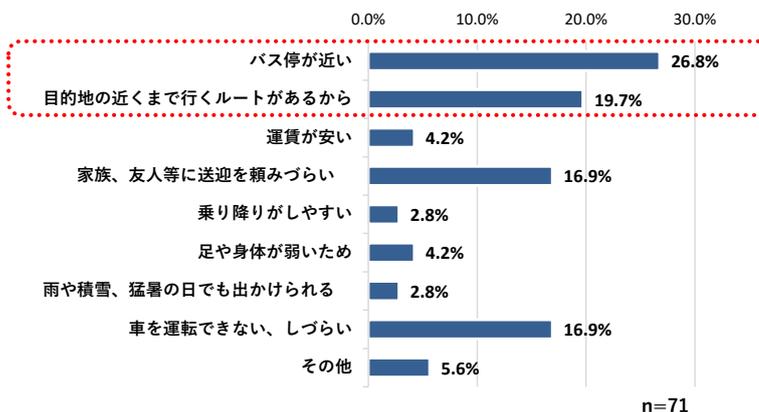
<路線バス、市営バスの利用状況>

- ・路線バス、市営バスの利用状況は、「路線バスも市営バスも利用しない」が約9割を占めているものの、川西では「路線バス」が1割以上、松代では「市営バス」、松之山では「路線バスも市営バスも利用する」も僅かに見られる。
- ・利用する理由としては、「バス停が近い」、「目的地まで行くルートがあるから」が多く、利用しない理由としては、「車で自由に移動できる」が79.8%と最も多い。
- ・旧合併市町村では、十日町地域に比べて路線バスや市営バスの利用が多く、日常生活において公共交通の必要性が高いことが伺える。

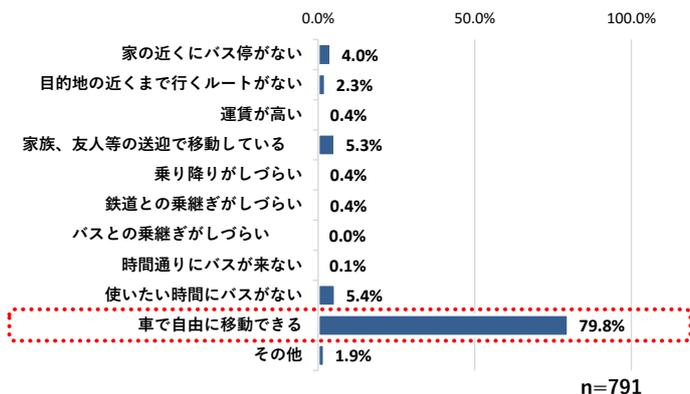
【利用状況】



【利用する理由】



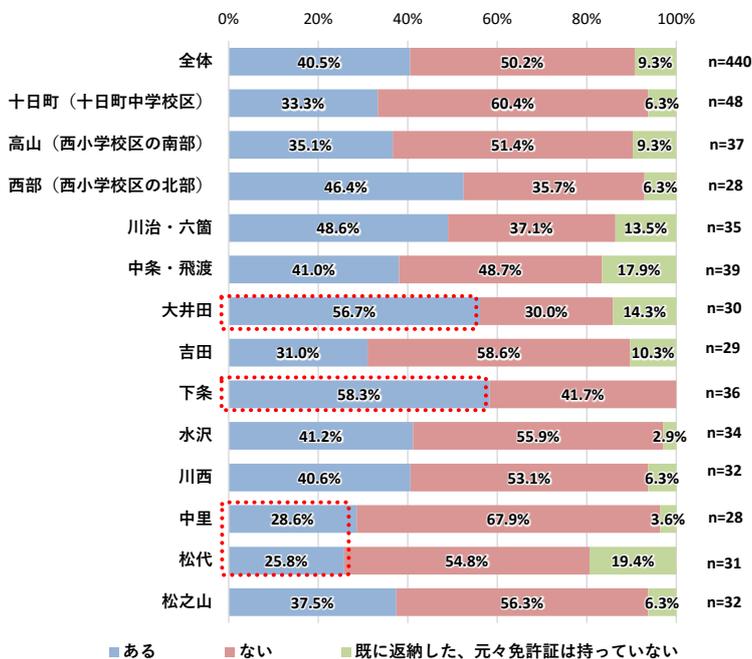
【利用しない理由】



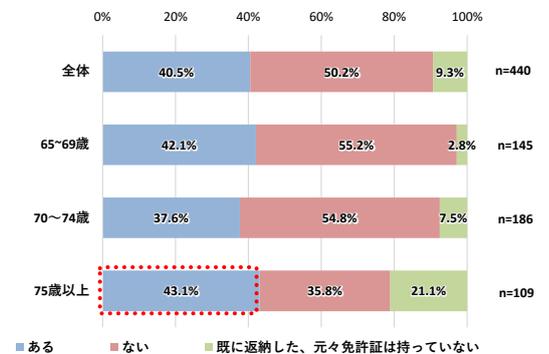
<運転免許証の返納について>

- ・運転免許証の返納意志については全体では「ない」が50.2%で半数以上を占めているが、75歳以上では「ない」は4割以下に減少、「ある」が4割以上に増加しており、返納意志が高まっている。
- ・また、地区別では、大井田地区や下条地区では返納意志が5割以上と高くなっているが、中里地区や松代地区では、返納意志が3割以下と低く、地区によって差が見られる。
- ・返納後の利用交通手段としては、全体的には「家族等の送迎」、「路線バス」が多く、特に川西では5割以上。また、十日町地区等の中心部では「徒歩」の割合が高く、川治・六箇、中里、松代、松之山では「市営バス」も見られる。
- ・また鉄道では、JR 飯山線を選択したのは下条地区のみ、ほくほく線を選択したのは十日町(十日町中学校区)・松代のみで沿線地域での利用も見られる。
- ・今後、高齢化の進展とともに免許返納者は増加。今後は返納後の交通手段として利用意向の高い「路線バス」等の公共交通の必要性が高くなるものと思われる。

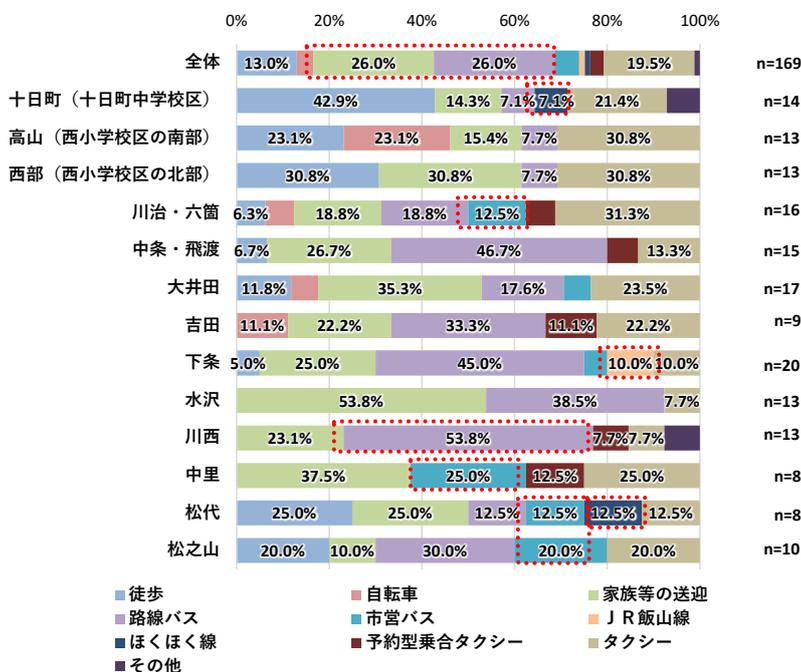
【返納意志】



【年齢別 返納意志】



【返納後の交通手段】



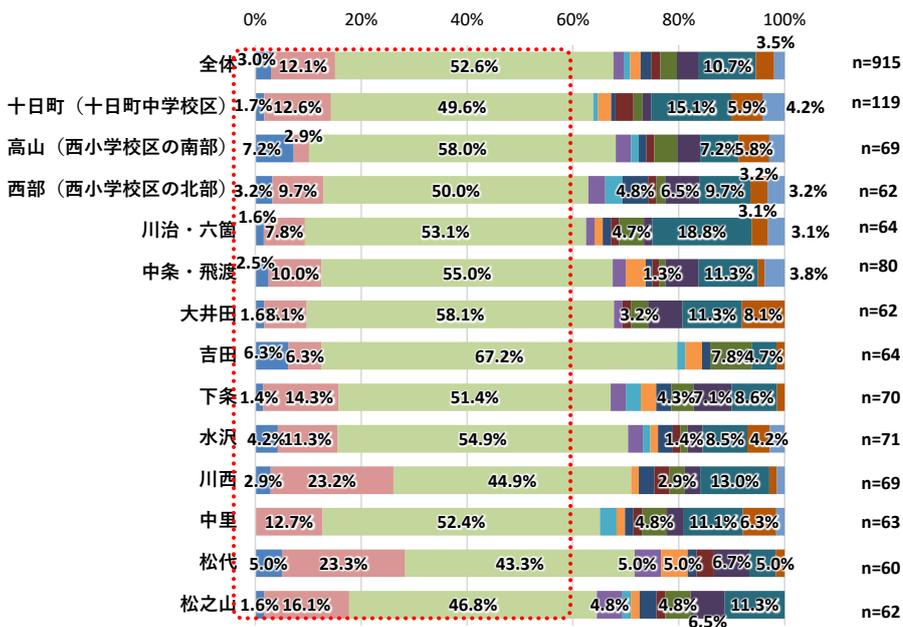
< 今後の望ましい公共交通 >

・どの地区でも「自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい」が最も多く、次いで「現在よりも運賃を上げて構わないので、1日の運行本数を多くしてほしい」「市街地(主要施設など)を周る循環バスを運行してほしい」が多く見られる。

・65歳以上では、川西と松代では「現在よりも運賃を上げて構わないので、1日の運行本数を多くしてほしい」が最も多く、その他の地区では全年齢と同様に「自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい」が最も多くなっている。

【今後の望ましい公共交通】

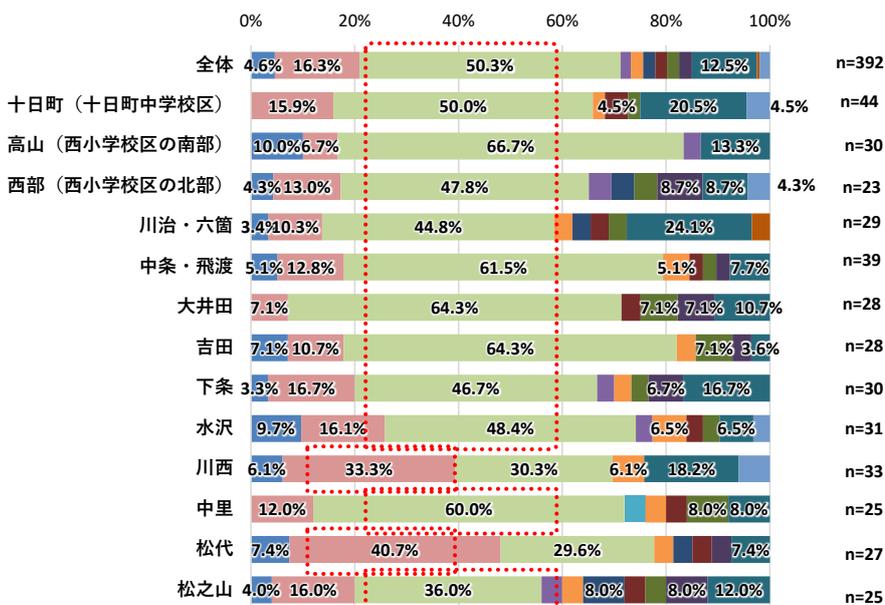
(全年齢)



凡例

- 現在よりも運行本数は少なくても構わないので、運賃を下げてほしい
- 現在よりも運賃を上げて構わないので、1日の運行本数を多くしてほしい
- 自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい
- 朝の運行本数を多くしてほしい (日中や夕の運行本数は少なくなっても構わない)
- 夕の運行本数を多くしてほしい (日中や朝の運行本数は少なくなっても構わない)
- 日中の運行本数を多くしてほしい (朝夕の運行本数は少なくなっても構わない)
- 毎日運行しなくても良いので、運行日は現在よりも運行本数を多くしてほしい
- 現在よりも運行本数は少なくても構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
- 現在よりも運賃は高くなっても構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
- 鉄道と路線バス、路線バス同士など、複数の交通手段を乗り継いでも構わないので、色々な目的地に公共交通で行けるようにしてほしい
- 市街地(主要施設など)を周る循環バスを運行してほしい
- キャッシュレス決済など、支払い時の利便性を高めてほしい
- 現在のバスの走行位置が分かるシステムを入れてほしい

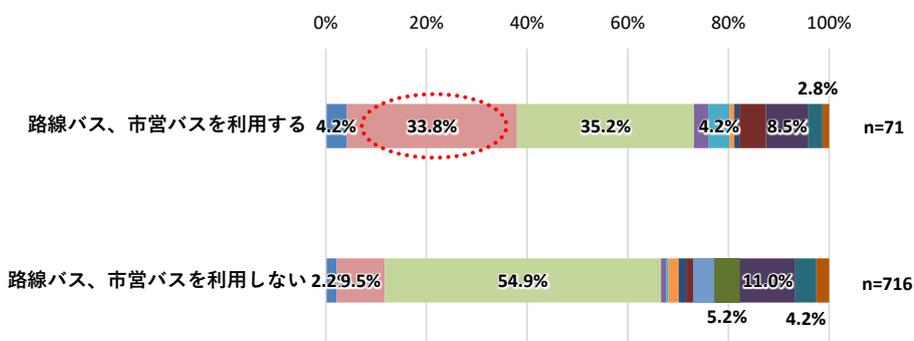
(65歳以上)



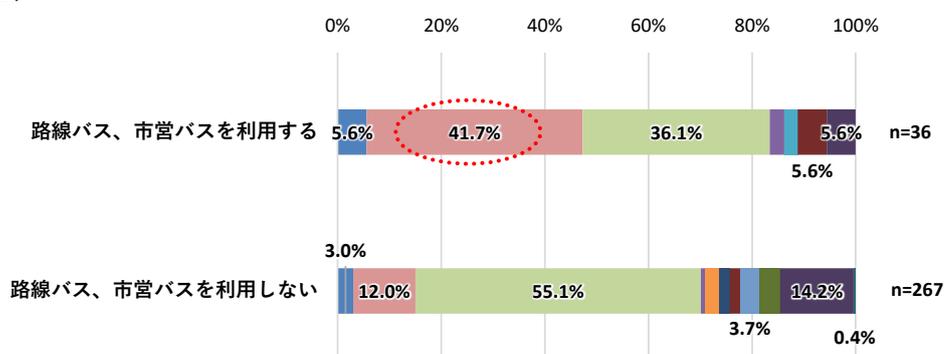
・バス利用状況別では、年齢に関係なく路線バス、市営バスを利用している方は「現在よりも運賃を上げても構わないので、1日の運行本数を多くしてほしい」の割合が多く、実際に利用している方は、運賃補助や料金助成よりも利便性に対する意向が高いことが伺える。一方で、利用されていない方では「市街地(主要施設など)を周る循環バスを運行してほしい」の割合が高くなっていることから循環バスが利用促進に向けたひとつの要素となる可能性が伺える。

【今後の望ましい公共交通】(バスの利用状況別)

(全年齢)



(65歳以上)



凡例

- 現在よりも運行本数は少なくとも構わないので、運賃を上げてほしい
- 現在よりも運賃を上げても構わないので、1日の運行本数を多くしてほしい
- 自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい
- 朝の運行本数を多くしてほしい
(日中や夕の運行本数は少なくとも構わない)
- 夕の運行本数を多くしてほしい
(日中や朝の運行本数は少なくとも構わない)
- 日中の運行本数を多くしてほしい
(朝夕の運行本数は少なくとも構わない)
- 毎日運行しなくても良いので、運行日は現在よりも運行本数を多くしてほしい
- 現在よりも運行本数は少なくとも構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
- 現在よりも運賃は高くなっても構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
- 鉄道と路線バス、路線バス同士など、複数の交通手段を乗り継いでも構わないので、色々な目的地に公共交通で行けるようにしてほしい
- 市街地(主要施設など)を周る循環バスを運行してほしい
- キャッシュレス決済など、支払い時の利便性を高めてほしい
- 現在のバスの走行位置が分かるシステムを入れてほしい

(2) 高校生アンケート

① 調査の実施概要

項目	内容
調査目的	・一般市民アンケート調査と並行して、「通学」で利用することが想定される「高校生」を対象に通学利用における公共交通の利用状況、問題点・ニーズ等について把握するため、アンケート調査を実施。
調査方法	・WEB アンケート（一部 調査票の直接配布・直接回収）
調査対象	・十日町市内の高校および十日町市在住の高校生の通う周辺市町村の高校 【市内】十日町高等学校、十日町総合高等学校、松代高等学校 十日町高等学校松之山分校、川西高等特別支援学校 【市外】津南中等教育学校、国際情報高等学校、六日町高等学校
調査項目	・回答者の基本属性 ・普段の移動状況（通学時等） ・公共交通の利用状況 ・今後の市内の公共交通
調査時期	・令和4年11月
回収状況	・回収数：207票

問 14 路線バス、市営バスを利用して目的地に行く際、乗降の多いバス停は何処ですか。
()内にバス停名、わからない場合は地名や施設名等を記入してください。

- 乗車バス停もしくは地名・施設名等 ()
- 降車バス停もしくは地名・施設名等 ()

問 15 路線バス、市営バスを利用する理由は何ですか。(あてはまるもの1つを選択)

- 1. バス停が近い
- 2. 目的地の近くまで行くルートがある
- 3. 運賃が安い
- 4. 家族等に送迎を頼みづらい
- 5. 乗り降りがしやすい
- 6. 足や身体が弱いため
- 7. 雨や積雪、猛暑の日でも出かけられる
- 8. その他 ()

→問 17へ

問 16 路線バス、市営バスを利用しない理由は何ですか。(あてはまるもの1つを選択)

- 1. 家の近くにバス停がない
- 2. 目的地の近くまで行くルートがない
- 3. 運賃が高い
- 4. 家族等の送迎で移動している
- 5. 乗り降りがしづらい
- 6. 鉄道との乗継ぎがしづらい
- 7. バスとの乗継ぎがしづらい
- 8. 時間通りにバスが来ない
- 9. 使いたい時間にバスがない
- 10. その他 ()

4. 今後の市内の公共交通について

問 17 今後、どのような公共交通が望ましいと思いますか。
(望ましい順に3つ、ご記入ください。)

望ましい順	①		②		③	
-------	---	--	---	--	---	--

- 1. 現在よりも運行本数は少なくとも構わないので、運賃を下げしてほしい
- 2. 現在よりも運賃を上げて構わないので、1日の運行本数を多くしてほしい
- 3. 自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい
- 4. 朝の運行本数を多くしてほしい(日中や夕の運行本数は少なくなっても構わない)
- 5. 夕の運行本数を多くしてほしい(日中や朝の運行本数は少なくなっても構わない)
- 6. 日中の運行本数を多くしてほしい(朝夕の運行本数は少なくなっても構わない)
- 7. 毎日運行しなくても良いので、運行日は現在よりも運行本数を多くしてほしい
- 8. 現在よりも運行本数は少なくとも構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
- 9. 現在よりも運賃は高くなっても構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
- 10. 鉄道と路線バス、路線バス同士など、複数の交通手段を乗り継いでも構わないので、色々な目的地に公共交通で行けるようにしてほしい
- 11. 市街地(主要施設など)を回る循環バスを運行してほしい
- 12. キャッシュレス決済など、支払い時の利便性を高めてほしい
- 13. 現在のバスの走行位置が分かるシステムを入れてほしい

5. その他

問 18 移動する際に困っていることや、十日町市の公共交通等について、その他ご意見がございましたらご自由にご記入ください。

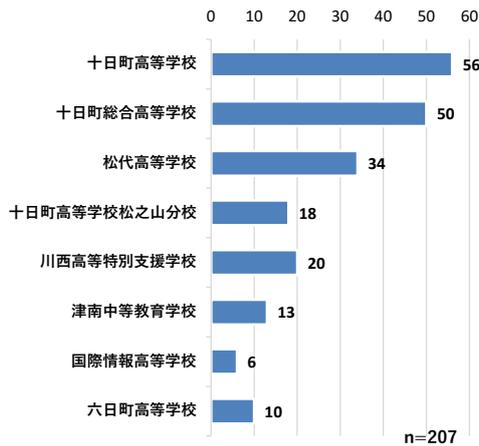
アンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

③ 調査結果

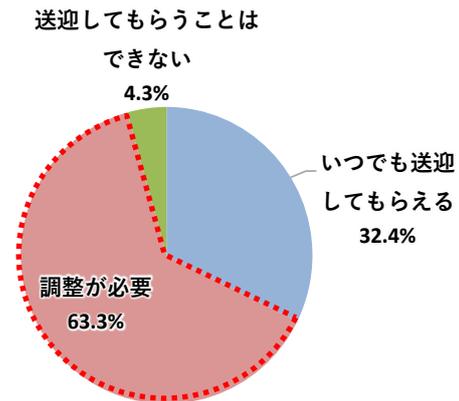
<回答者の基本属性>

- ・家族等による送迎については、「調整が必要」が 63.3%で最も多く、「送迎してもらえない」は僅か 4.3%。
- ・住まい(地区)は、全体では「十日町(十日町中学校区)」が最も多い。
- ・松代高等学校では「上越市」、十日町高等学校松之山分校では「津南町」といった十日町市外からの通学も若干見られる。

【高校別 回収票数】



【家族等による送迎】



【高校別 住まい(地区)】

	十日町 (十日町中学校区)	十日町市以外														回答数 n			
		高山 (西小学校区 の南部)	西部 (西小学校区 の北部)	川治・ 六箇	中条・ 飛渡	大井田	吉田	下条	水沢	川西	中里	松代	松之山	津南町	上越市		南魚沼 市	六日町	小千谷 市
全体	19.3%	3.4%	5.8%	6.8%	3.9%	1.9%	1.0%	4.3%	5.8%	5.8%	8.2%	5.8%	2.4%	8.2%	6.3%	6.8%	3.4%	1.0%	207
十日町高等学校	12.5%	8.9%	7.1%	7.1%	1.8%	1.8%	0.0%	5.4%	5.4%	7.1%	3.6%	5.4%	0.0%	5.4%	7.1%	14.3%	3.6%	3.6%	56
十日町総合高等学校	24.0%	0.0%	0.0%	2.0%	4.0%	0.0%	0.0%	10.0%	8.0%	4.0%	8.0%	6.0%	0.0%	10.0%	6.0%	12.0%	6.0%	0.0%	50
松代高等学校	29.4%	0.0%	2.9%	2.9%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	8.8%	5.9%	8.8%	8.8%	0.0%	2.9%	17.6%	0.0%	5.9%	0.0%	34
十日町高等学校松之山分校	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	5.6%	16.7%	5.6%	22.2%	27.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18
川西高等特別支援学校	10.0%	10.0%	0.0%	30.0%	10.0%	0.0%	5.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%	5.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20
津南中等教育学校	23.1%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	15.4%	38.5%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13
国際情報高等学校	33.3%	0.0%	33.3%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6
六日町高等学校	20.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10

< 普段の状況 >

■ 通学時

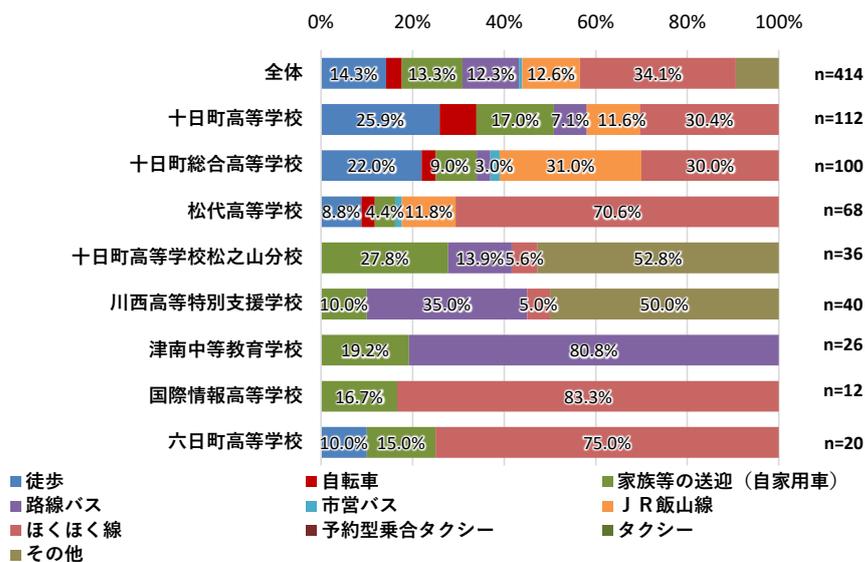
・ 晴れまたは曇りの日の主な交通手段としては、まつだい駅に近い松代高等学校や市外の国際情報高等学校、六日町高等学校では、「ほくほく線」の利用が多く、川西高等特別支援学校、津南中等教育学校では「路線バス」の利用が多く見られる。なお、松之山分校では「その他(スクールバス)」、川西高等特別支援学校では「その他(NPO送迎バス)」が最も多い。

・ 雨や雪の日の主な交通手段では、十日町市内の高校では、晴れまたは曇りの日に比べて、「自転車」が減り「家族等の送迎」が若干増えている高校が見られる。

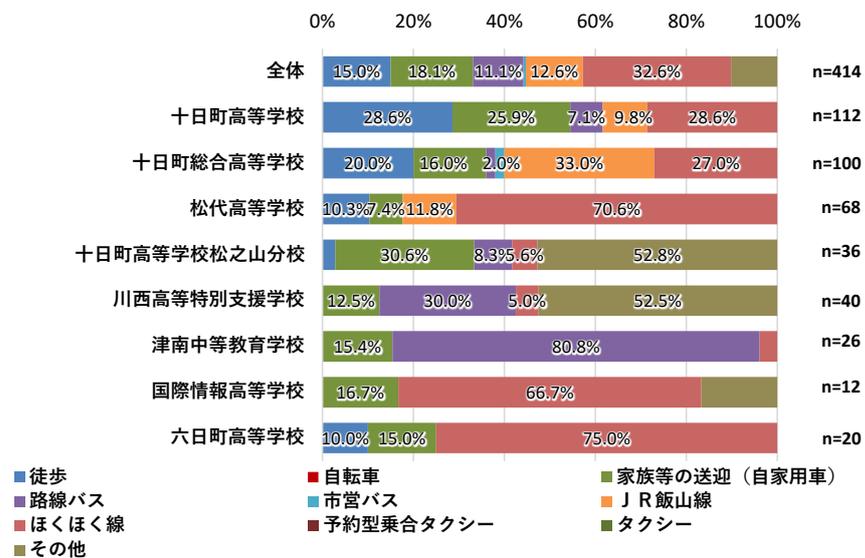
・ 通学時に困っていることについては、「特に困っていることはない」が最も多いものの、「利用できる路線バス・市営バスが無い(不便)」などの指摘も若干見られる。

・ 学校によって、交通手段が異なるものの、一般市民アンケートに比べて公共交通の利用は非常に多く、自動車を運転できない高校生にとって公共交通は重要な交通手段となっている。

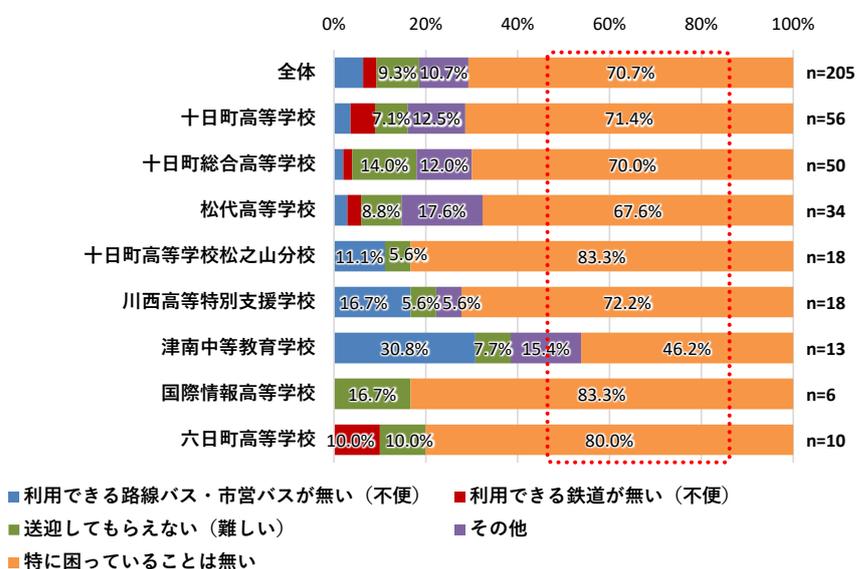
【晴れまたは曇りの日の通学手段】



【雨や雪の日の通学手段】



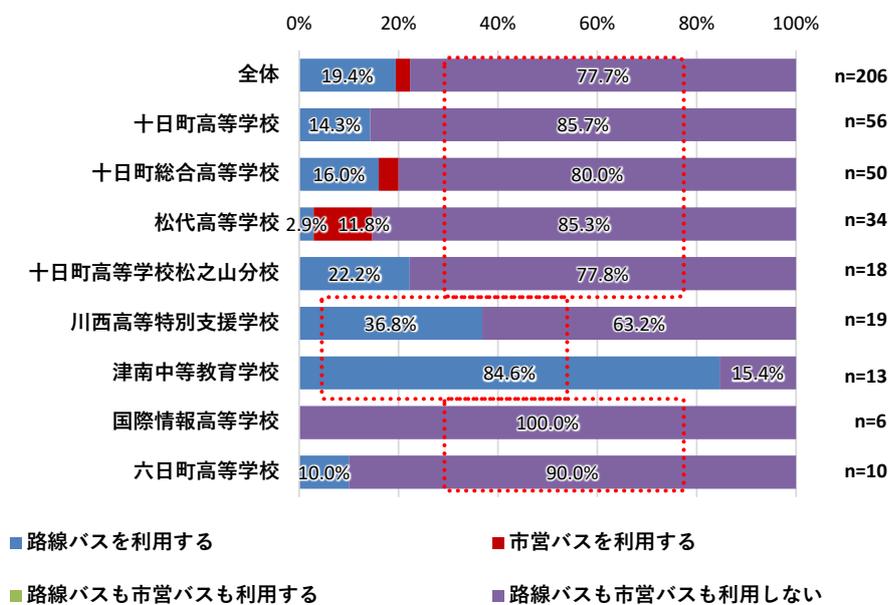
【通学時の移動で困っていること】



<路線バス、市営バスの利用状況>

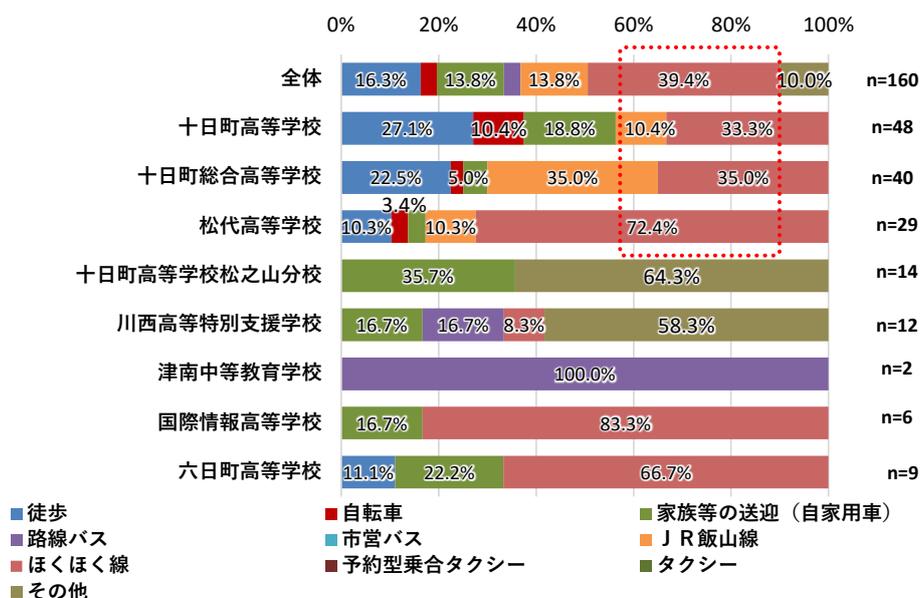
- ・路線バス、市営バスの利用状況は、「路線バスも市営バスも利用しない」が7割以上を占めている高校が多いものの、川西高等特別支援学校では 36.8%、津南中等教育学校では 84.6%が「路線バスを利用する」と回答している。
- ・「路線バスも市営バスも利用しない」方は、ほくほく線を利用している方が多く、バスと鉄道を比較して利用しやすい交通手段を選択して利用していることが伺える。

【利用状況】



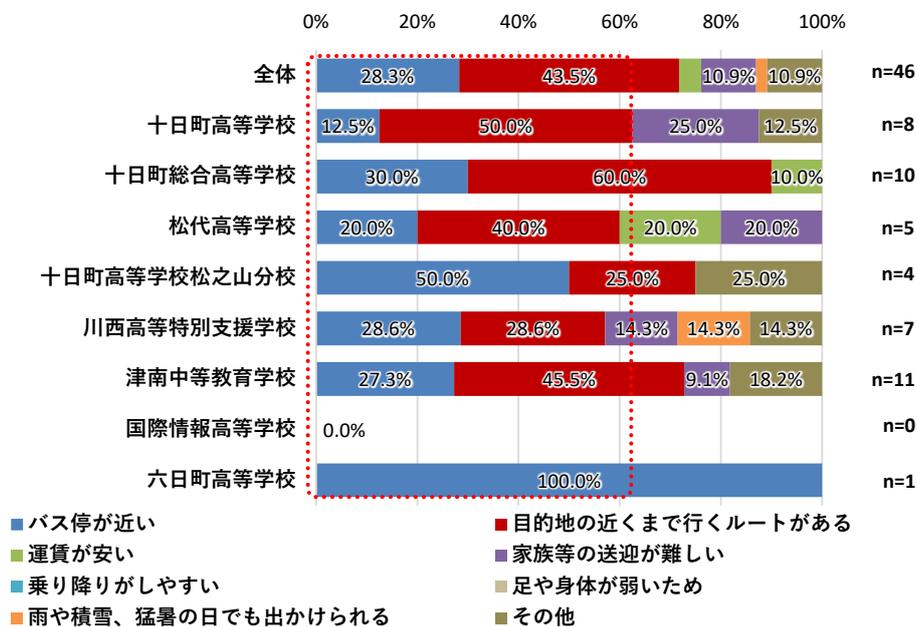
路線バス、市営バスを利用しない

【登校時の交通手段】

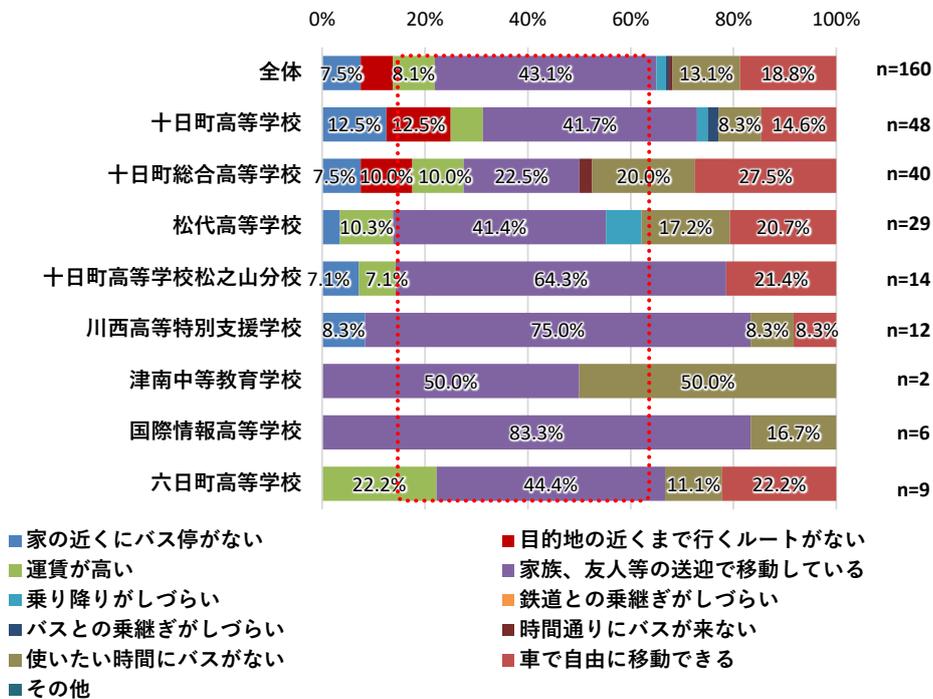


- ・利用する理由としては、「バス停が近い」、「目的地まで行くルートがあるから」が多く見られる。
- ・利用しない理由としては、「家族等の送迎で移動している」が最も多く見られる。

【利用する理由】



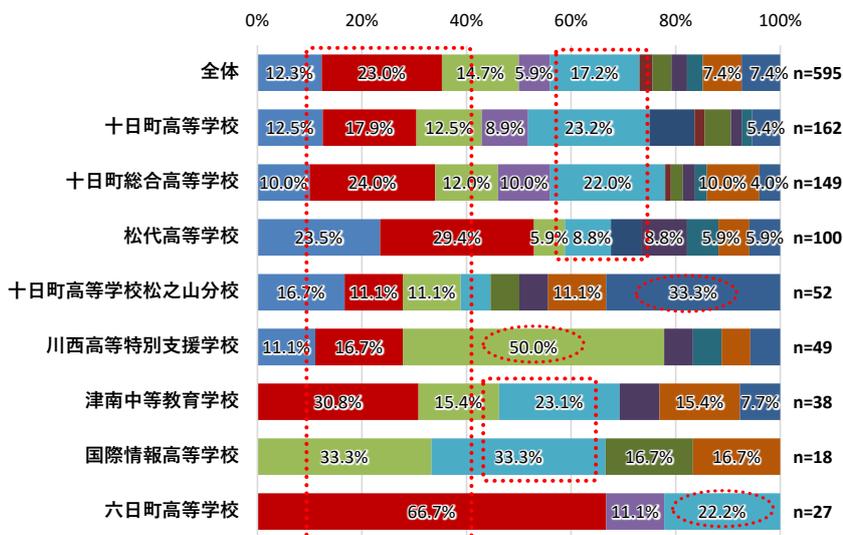
【利用しない理由】



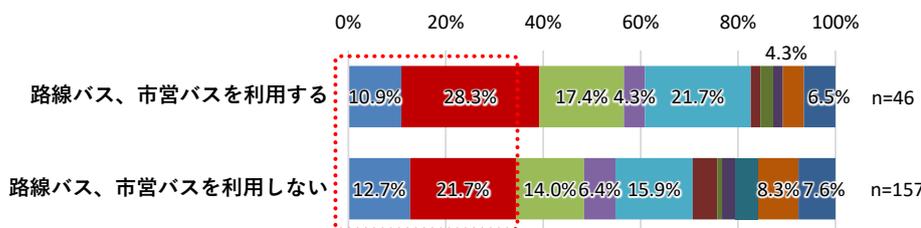
<今後の望ましい公共交通>

- ・「現在よりも運賃を上げて構わないので、1日の運行本数を多くしてほしい」「夕の運行本数を多くしてほしい(日中や朝の運行本数は少なくなっても構わない)」が多く見られる高校が多い。
- ・川西高等特別支援学校では「自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい」が多く、十日町高等学校松之山分校では、「現在のバスの走行位置が分かるシステムを入れてほしい」が多く見られる。
- ・川西高等特別支援学校では学校の特性上、交通弱者への助成を望む傾向が見られるが、バスの利用状況別でみると「バスを利用していない」に比べて、「バスを利用している」方が、運賃よりも運行本数等のサービス向上を望む傾向が伺える。

【今後の望ましい公共交通】



【今後の望ましい公共交通】(バスの利用状況別)



- 現在よりも運行本数は少なくても構わないので、運賃を下げてほしい
- 現在よりも運賃を上げて構わないので、1日の運行本数を多くしてほしい
- 自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい
- 朝の運行本数を多くしてほしい (日中や夕の運行本数は少なくなっても構わない)
- 夕の運行本数を多くしてほしい (日中や朝の運行本数は少なくなっても構わない)
- 日中の運行本数を多くしてほしい (朝夕の運行本数は少なくなっても構わない)
- 毎日運行しなくても良いので、運行日は現在よりも運行本数を多くしてほしい
- 現在よりも運行本数は少なくても構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
- 現在よりも運賃は高くなっても構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
- 鉄道と路線バス、路線バス同士など、複数の交通手段を乗り継いでも構わないので、色々な目的地に公共交通で行けるようにしてほしい
- 市街地(主要施設など)を回る循環バスを運行してほしい
- キャッシュレス決済など、支払い時の利便性を高めてほしい
- 現在のバスの走行位置が分かるシステムを入れてほしい

(3) 利用者アンケート

① 調査の実施概要

項目	内容
調査目的	・利用実態の把握を行うため、路線バス、市営バス、予約型乗合タクシー等の利用者に対してアンケート調査を行い、利用路線の満足度等についてアンケートを実施する。
調査方法	・主要バス停での聞き取り調査
調査対象	・十日町市内を運行する以下の路線 高速バス、路線バス、市営バス、予約型乗合タクシー
調査項目	・回答者の属性 ・利用目的、利用頻度、利用理由 ・満足度、今後の市内の公共交通
調査時期	・路線バス：令和4年11月25日（金） ・その他：令和4年11月9日（水）～令和5年1月17日（火） ※上記機関の数日
回収状況	・高速バス：9票、路線バス：118票、市営バス：97票 ・予約型乗合タクシー：49票

② アンケート調査票

～利用者アンケート（乗降調査兼用）～ 路線バス・市営バス

日頃より十日町市の交通行政についてご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
十日町市では、市内で運行している路線バス、市民バス、タクシーといった公共交通で市民の皆様の移動の利便性を向上すべく検討を行ってまいりました。地域の皆様にとって、より良いサービスを提供できるよう、運行へのご意見などを、お聞かせいただきたいと思います。
調査の主旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。
なお、調査票は本調査以外の目的に使用することはありません。（十日町市 企画政策課）

1. あなた自身について、おたずねします。

問1 あなたの年齢を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18歳未満 | 2. 18～19歳 | 3. 20歳代 | 4. 30歳代 | 5. 40歳代 |
| 6. 50歳代 | 7. 60～64歳 | 8. 65～69歳 | 9. 70～74歳 | 10. 75歳以上 |

問2 自動車の運転はされますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|---------|----------|--------------------|
| 1. 運転する | 2. 運転しない | 3. 以前は運転していたが今はしない |
|---------|----------|--------------------|

2. 利用している路線について、おたずねします。

問3 本日は、どのような目的で利用されましたか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | | | |
|----------|---------|-------|-------|---------|
| 1. 通勤 | 2. 通学 | 3. 買物 | 4. 通院 | 5. 公共施設 |
| 6. 趣味・娯楽 | 7. その他（ | | | ） |

問4 目的地まで、他の交通機関との乗り継ぎはありますか。（あてはまるもの全てに○）

- | | | | |
|---------|---------|--------------|-----------|
| 1. 鉄道 | 2. 他のバス | 3. 予約型乗合タクシー | 4. タクシー |
| 5. その他（ | | ） | 6. 乗り継ぎなし |

問5 本路線は、どの程度利用されていますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | | |
|---------|---------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週5日 | 3. 週3日～4日 | 4. 週1日～2日 |
| 5. 月に数日 | 6. 年に数回 | | |

問6 本路線を利用される主な理由は何ですか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|--------------------|-----------------------|----------|
| 1. バス停が近い | 2. 目的地の近くまで行くルートがあるから | 3. 運賃が安い |
| 4. 家族、友人等に送迎を頼みづらい | 5. 乗り降りがしやすい | |
| 6. 足や身体が弱いため | 7. 雨や積雪、猛暑の日でも出かけられる | |
| 8. 車を運転できない、しづらい | 9. その他（ | ） |

問7 本路線を利用されて、下記の項目について、あなたはどの程度満足と感じますか。
(項目毎にあてはまるもの1つに○)

項目	満足度				
	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
① 運行時間(時間帯、始発・最終便)	1	2	3	4	5
② 運行便数	1	2	3	4	5
③ 運行ルート(経路、停車バス停)	1	2	3	4	5
④ バス停までの距離	1	2	3	4	5
⑤ 運賃	1	2	3	4	5
⑥ 停留所・待合所の快適性	1	2	3	4	5
⑦ 電車・バスの乗り継ぎ	1	2	3	4	5
⑧ 案内表示等の情報提供	1	2	3	4	5

問8 上記質問で、やや不満、不満と回答いただいた内容について、どのようなことが不満と感じているか、改善して欲しい点はどのようなことかを教えてください。

(項目番号) (不満と感じている点、改善して欲しい点 等)

3. 今後、必要な公共交通サービスについて、おたずねします。

問9 今後、どのような公共交通が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

【公共交通サービス】

1. 自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい
2. 現在よりも運行本数は少なくとも構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
3. 現在よりも運賃は高くなっても構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
4. 鉄道と路線バス、路線バス同士など、複数の交通手段を乗り継いでも構わないので、色々な目的地に公共交通で行けるようにしてほしい
5. 市街地(主要施設など)を周る循環バスを運行してほしい
6. キャッシュレス決済など、支払い時の利便性を高めてほしい
7. 現在のバスの走行位置が分かるシステムを入れてほしい

問10 その他十日町市の公共交通について、ご意見やご要望等がありましたら教えてください。

調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

調査員記入(調査日時: 月 日 時 分)

作業番号	調査番号:	乗車バス停	降車バス停:
------	-------	-------	--------

～利用者アンケート（乗降調査兼用）～ 予約型乗合タクシー

日頃より十日町市の交通行政についてご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。
十日町市では、市内で運行している路線バス、市民バス、タクシーといった公共交通で市民の皆様の移動の利便性を向上すべく検討を行ってまいりました。地域の皆様にとって、より良いサービスを提供できるよう、運行へのご意見などを、お聞かせいただきたいと思います。
調査の主旨をご理解いただき、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。
なお、調査票は本調査以外の目的に使用することはありません。（十日町市 企画政策課）

1. あなた自身について、おたずねします。

問1 あなたの年齢を教えてください。（あてはまるもの1つに○）

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 18歳未満 | 2. 18～19歳 | 3. 20歳代 | 4. 30歳代 | 5. 40歳代 |
| 6. 50歳代 | 7. 60～64歳 | 8. 65～69歳 | 9. 70～74歳 | 10. 75歳以上 |

問2 自動車の運転はされますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|---------|----------|--------------------|
| 1. 運転する | 2. 運転しない | 3. 以前は運転していたが今はしない |
|---------|----------|--------------------|

2. 利用している予約型乗合タクシーについて、おたずねします。

問3 本日は、どのような目的で利用されましたか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | | |
|---------|-------|---------|----------|
| 1. 通院 | 2. 買物 | 3. 公共施設 | 4. 趣味・娯楽 |
| 5. その他（ | ） | | |

問4 目的地まで、他の交通機関との乗り継ぎはありますか。（あてはまるもの全てに○）

- | | | | |
|---------|---------|--------------|-----------|
| 1. 鉄道 | 2. 他のバス | 3. 予約型乗合タクシー | 4. タクシー |
| 5. その他（ | ） | | 6. 乗り継ぎなし |

問5 本路線は、どの程度利用されていますか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | | |
|---------|---------|-----------|-----------|
| 1. ほぼ毎日 | 2. 週5日 | 3. 週3日～4日 | 4. 週1日～2日 |
| 5. 月に数日 | 6. 年に数回 | | |

問6 本路線を利用される主な理由は何ですか。（あてはまるもの1つに○）

- | | | |
|--------------------|----------------------|----------|
| 1. 停留所が近い | 2. 目的地の近くまで行くから | 3. 運賃が安い |
| 4. 家族、友人等に送迎を頼みづらい | 5. 乗り降りがしやすい | |
| 6. 足や身体が弱いため | 7. 雨や積雪、猛暑の日でも出かけられる | |
| 8. 車を運転できない、しづらい | 9. その他（ | ） |

問7 本路線を利用されて、下記の項目について、あなたはどの程度満足と感じますか。
(項目毎にあてはまるもの1つに○)

項目	満足度				
	1 満足	2 やや満足	3 普通	4 やや不満	5 不満
① 運行時間(時間帯、始発・最終便)	1	2	3	4	5
② 運行便数	1	2	3	4	5
③ 運行ルート(経路、停車バス停)	1	2	3	4	5
④ 停留所までの距離	1	2	3	4	5
⑤ 運賃	1	2	3	4	5
⑥ 停留所・待合所の快適性	1	2	3	4	5
⑦ 電車・バスの乗り継ぎ	1	2	3	4	5
⑧ 案内表示等の情報提供	1	2	3	4	5
⑨ 予約方法	1	2	3	4	5

問8 上記質問で、やや不満、不満と回答いただいた内容について、どのようなことが不満と感じているか、改善して欲しい点はどのようなことかを教えてください。

(項目番号) (不満と感じている点、改善して欲しい点 等)

3. 今後、必要な公共交通サービスについて、おたずねします。

問9 今後、どのような公共交通が望ましいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

【公共交通サービス】

1. 自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい
2. 現在よりも運行本数は少なくとも構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
3. 現在よりも運賃は高くなっても構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
4. 鉄道と路線バス、路線バス同士など、複数の交通手段を乗り継いでも構わないので、色々な目的地に公共交通で行けるようにしてほしい
5. 市街地(主要施設など)を回る循環バスを運行してほしい
6. キャッシュレス決済など、支払い時の利便性を高めてほしい
7. 現在のバスの走行位置が分かるシステムを入れてほしい

問10 その他十日町市の公共交通について、ご意見やご要望等がありましたら教えてください。

調査は終了です。ご協力ありがとうございました。

調査員記入(調査日時: 月 日 時 分)

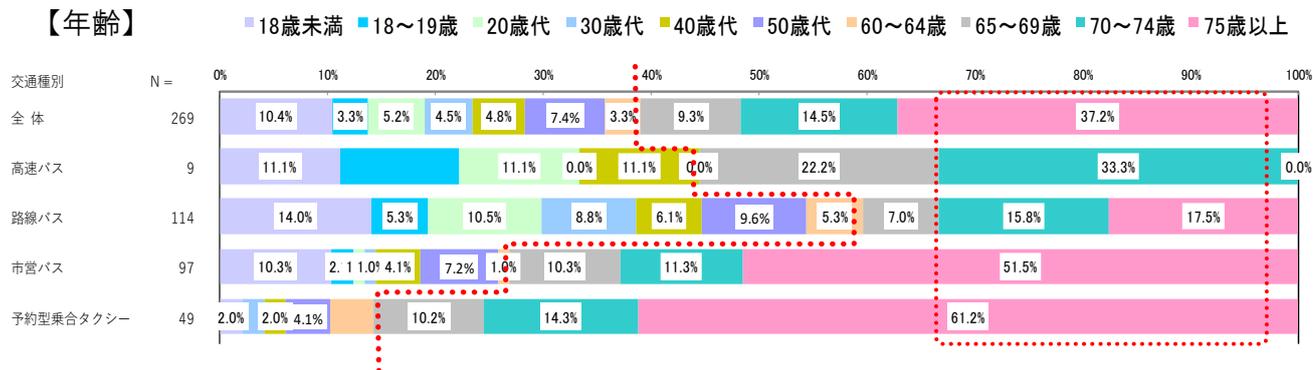
仕業番号	調査番号:	乗車バス停	降車バス停:
------	-------	-------	--------

③ 調査結果

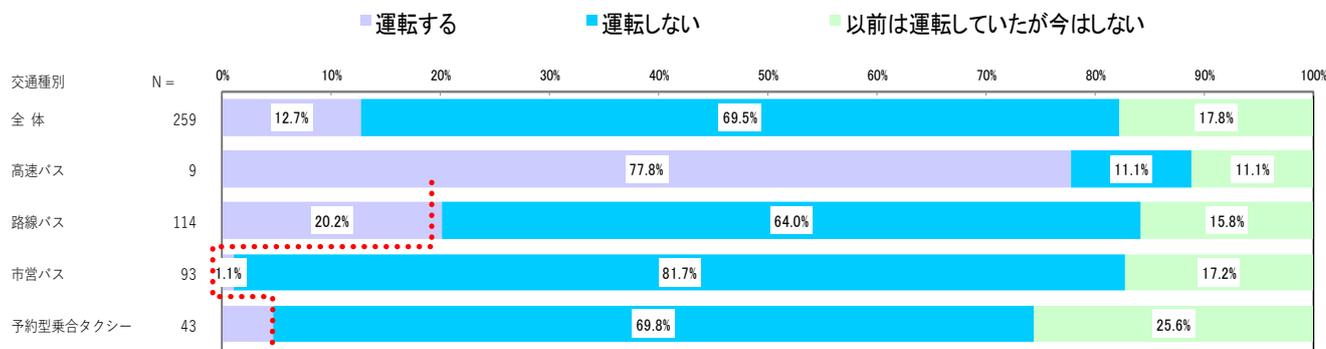
<回答者の基本属性>

- ・年齢については、高速バスを除き「75歳以上」が最も多く、特に市営バス、予約型乗合タクシーでは「75歳以上」が5割以上を占めており、65歳以上の高齢者が7割以上を占めている。
- ・自動車の運転状況を見ると、高速バスでは「運転する」が77.8%で最も多いものの、その他の交通手段では、「運転しない」が最も多く、「以前は運転していたが、今はしない」を含めると路線バスで約8割、市営バスおよび予約型乗合タクシーでは9割以上が現在運転をしていない状況となっている。
- ・路線バス、市営バス、予約型乗合タクシーは「現在運転をしない」(できない)方、特に市営バスや予約型乗合タクシーについては、高齢者にとって移動時における貴重な足となっていることが伺える。

【年齢】



【自動車の運転】



<利用状況>

■目的

- ・路線バスは「通勤」が最も多く、「通学」と合わせると4割以上となっているが、市営バス、予約型乗合タクシーでは「通院」が最も多く、次いで「買い物」となっている。
- ・高速バスで最も多い「その他」は仕事関連、予約型乗合タクシーの「その他」はワクチン接種。

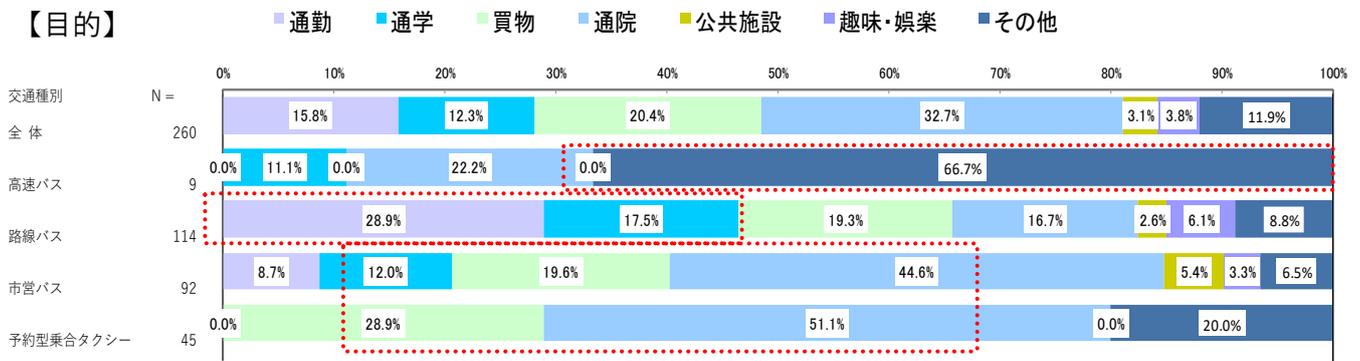
■利用頻度

- ・路線バスでは「週5日」「月に数日」が最も多く、市営バス、予約型乗合タクシーでは「月に数日」が最も多い。

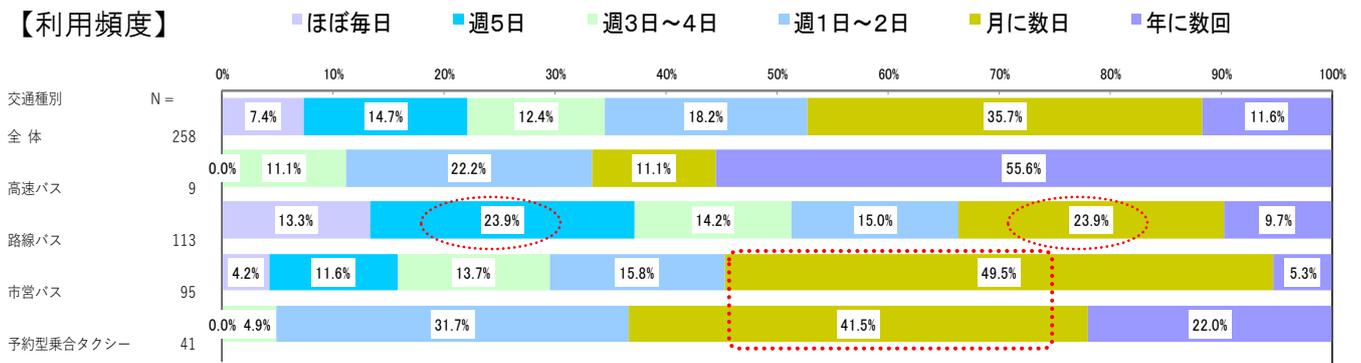
■利用の理由

- ・路線バスでは「バス停が近い」、市営バスおよび予約型乗合タクシーでは「車を運転できない、しづらい」が多い。
- ・市営バスや予約型乗合タクシーは、路線バスに比べて利用頻度は少ないもの、「通院」や「買い物」目的に利用されており、「車を運転できない、しづらい」方にとっては、生活を維持する上で必要な交通手段となっている。

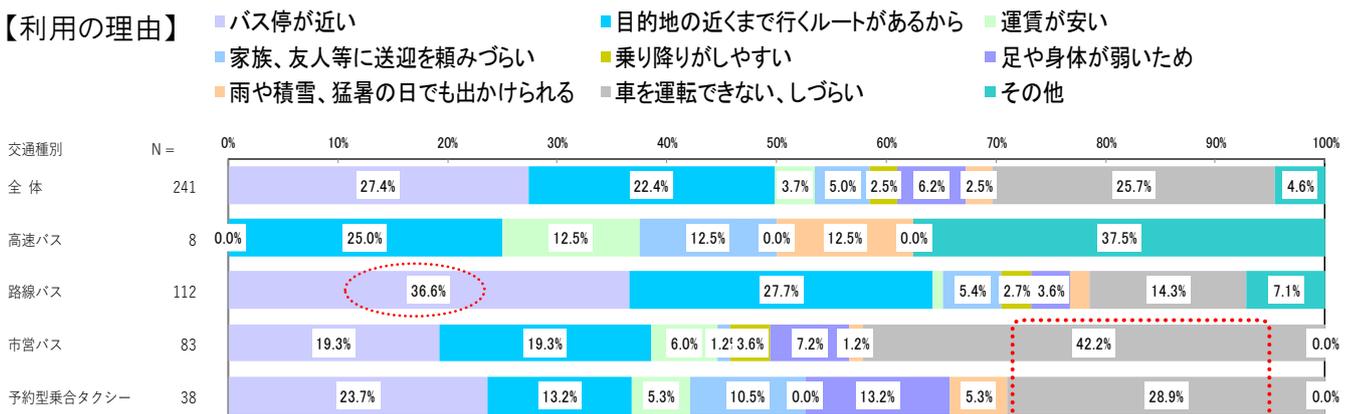
【目的】



【利用頻度】



【利用の理由】



<満足度>

- ・項目で最も満足度が高いのは「運賃」、最も低いのは「運行便数」。
- ・交通種別では市営バスと予約型乗合タクシーが比較的満足度が高く、路線バスや高速バスの満足度が低い。特に高速バスと路線バスでは「運行便数」が低くなっている。
- ・市営バス、予約型乗合タクシーでは「運賃」の満足度が最も高く、「電車・バスの乗り継ぎ」と「運行便数」の満足度が低い。
- ・路線バスと高速バスの「運行便数」の満足度が低い理由としては、運行本数が少ないことが全路線で挙げられている。満足度の向上にあたっては、利用状況や収支、他の交通種別との並走なども踏まえた上で、増便の必要性、可能性について検討する必要があるものと思われる。

【満足度評価の方法】

各公共交通に対する8項目の設問について、アンケートの回答「大変満足」を5点、「満足」を4点、「普通」を3点、「やや不満」を2点、「不満」を1点として集計し平均値を比較。

【満足度】

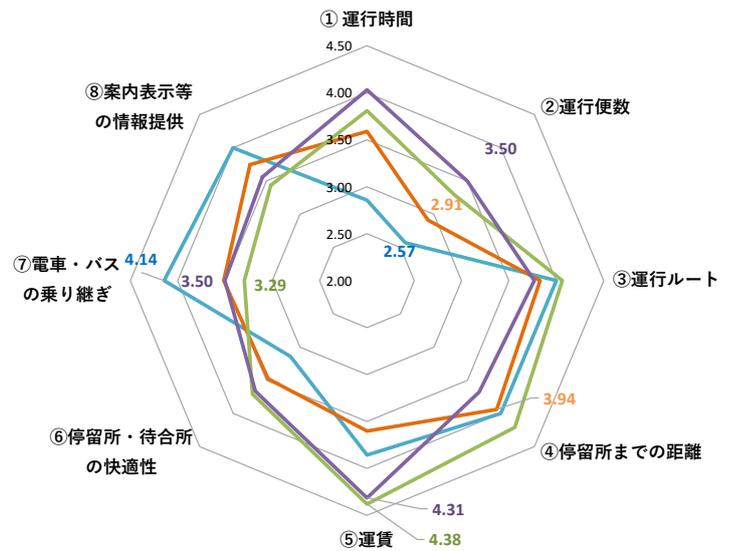
種別\項目	① 運行時間	② 運行便数	③ 運行ルート	④ 停留所までの距離	⑤ 運賃	⑥ 停留所・待合所の快適性	⑦ 電車・バスの乗り継ぎ	⑧ 案内表示等の情報提供	平均
高速バス	2.86	2.57	4.00	4.00	3.86	3.14	4.14	4.00	3.57
路線バス	3.59	2.91	3.83	3.94	3.60	3.48	3.51	3.75	3.58
市営バス	3.81	3.30	4.06	4.21	4.38	3.71	3.29	3.44	3.77
予約型乗合タクシー	4.03	3.50	3.77	3.68	4.31	3.67	3.50	3.56	3.75
平均	3.57	3.07	3.92	3.96	4.04	3.50	3.61	3.69	

青:種別別 満足度の高い項目

赤:種別別 満足度の低い項目

【不満の理由】

- 高速バス:便数が少ない(1日2往復)ことに関する理由が多く、朝夕の増便、小千谷、長岡経由ルートの要望も見られる。
- 路線バス:全路線で運行便数が少ないことに対する不満が多く、十日町車庫前＝中里＝津南 線では土日の増便要望もある。その他には停留所の上屋(特に冬場)整備、市営バスとの乗り継ぎなど。
- 市営バス:中里、松代、松之山では本数が少ないこと、川西、松之山では越後交通との乗り継ぎが不便と感じている。
- 予約型乗合タクシー:十日町地域では増便の要望、川西地域などでは停留所の増加、十日町(八箇線)では、冬場の待合所などを要望。
- その他の意見:市内循環バスやバス停近くでの荷物受け渡し所の設置、交通系ICカードが使えない等。

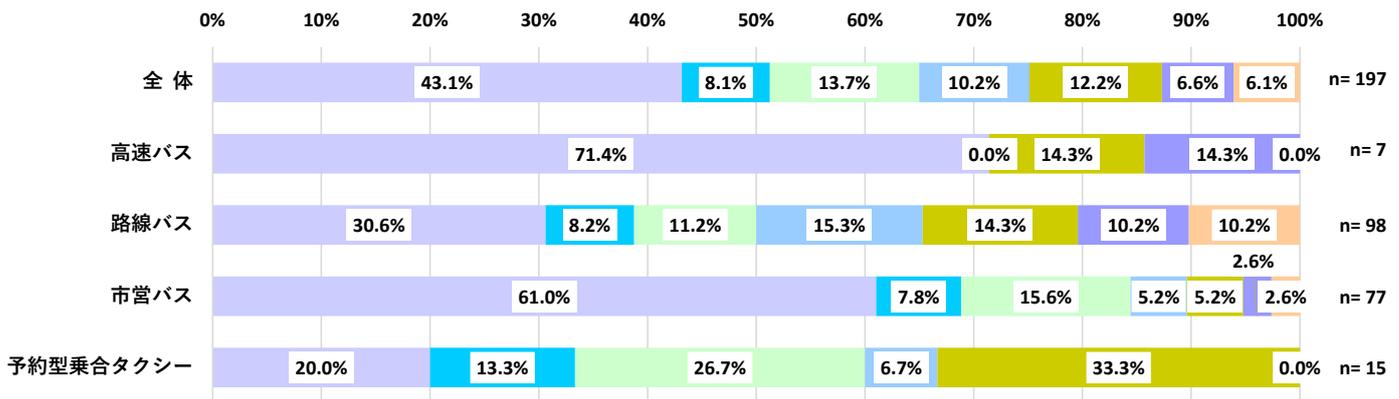


- 高速バス
- 路線バス
- 市営バス
- 予約型乗合タクシー

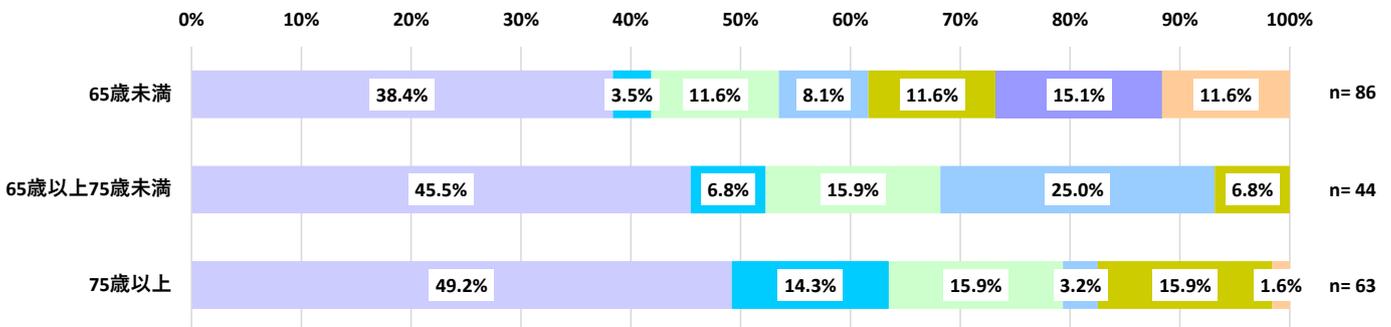
＜今後必要な公共交通サービス＞

- ・高速バス、路線バス、市営バスでは「自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい」が最も多い。
- ・予約型乗合タクシーでは「市街地(主要施設など)を周る循環バスを運行してほしい」が最も多く、路線バスや高速バスにおいても上位になっている。
- ・年齢が高くなるほど、交通弱者への助成を望む意見が多くなっているものの、65歳未満では「キャッシュレス決済など、支払い時の利便性を高めてほしい」「現在のバスの走行位置が分かるシステムを入れてほしい」といった意見も見られ、今後は、交通系ICカード、バスロケーションシステム等の必要性が伺える。

【今後必要な公共交通サービス】



【今後必要な公共交通サービス】年齢別(3区分)



- 自動車を運転できない高齢者や学生に対して、路線バスの運賃補助やタクシー料金助成があるとよい
- 現在よりも運行本数は少なく構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
- 現在よりも運賃は高くなっても構わないので、目的地まで1つの交通手段で行けるようにしてほしい
- 鉄道と路線バス、路線バス同士など、複数の交通手段を乗り継いでも構わないので、色々な目的地に公共交通で行けるようにしてほしい
- 市街地(主要施設など)を周る循環バスを運行してほしい
- キャッシュレス決済など、支払い時の利便性を高めてほしい
- 現在のバスの走行位置が分かるシステムを入れてほしい

■用語解説

用語	意味	掲載ページ
AI オンデマンド交通	AI を活用して利用者の予約に基づきリアルタイムで最適な配車を行うサービス。定まった路線を持たず、配車予約と車両位置からAIがリアルタイムに最適な運行ルートを決定するため、乗合いつつ希望時間通りの移動が可能。	P.36 P.43 P.50 P.56 P.59
AI 配車システム	人工知能（AI）を用いて、デマンドタクシー等の運行ルートを設定するシステム。効率的な配車が可能になることで、利便性の向上や運行収支の改善などが期待される。	P.50 P.56
交通空白地域	公共交通サービスが不足または存在しない地域。こうした地域では市営バスや予約型乗合タクシーなどの代替交通手段が提供されることがある。	P.1 P.18 P.23
交通弱者	交通サービスへのアクセスが限られたり、困難を抱える個人やグループ。高齢者や障害者、子育て世帯などが含まれる。	P.32 P.34 P.37 P.45 P.47
自家用有償旅客運送	個人や団体が所有する車両を利用して有料で移動サービスを提供すること。地域住民やNPO団体が主体となって運行や運営を行う。	P.36 P.47
自動運転技術	自動車がドライバーの操作なしに運転する技術。センサーやカメラ、AIなどを利用して車両を自動的に制御する。	P.50 P.56 P.59
地域主体の公共交通サービス	地域住民やNPO団体が主体となり、運行や運営を行う公共交通サービス。	P.36
定額制タクシー	対象地域内を運行するタクシーを月額料金などで、乗り放題となるサービス。乗降場所や乗車時間帯を制限する場合もある。	P.50 P.56
二次交通	外出において、1つ目の交通手段の次に利用する交通手段のこと。拠点となる空港や鉄道の駅から観光地までの交通などを指す。	P.35 P.39 P.50 P.55 P.59
バスロケーションシステム	GPS技術を利用してバスの実際の位置情報をリアルタイムで提供するシステム。利用者はスマートフォンアプリやウェブサイトを通じてバスの現在位置や到着予定時刻を確認できる。	P.36
MaaS (Mobility as a Service)	複数の交通サービスを一つのサービスとして捉え、それぞれの交通サービスをシームレスに利用できるようにするコンセプト。	P.36
マイレール意識	鉄道の必要性と重要性を行政や関係機関・地域住民があらためて認識し、自ら地域の鉄道を守り育てていく意識。	P.50 P.57
モビリティ・マネジメント	一人一人の移動や地域の交通流動を、改善していくために行う一連の取り組みを意味する。「過度にマイカーに頼る生活」から「公共交通を適度に利用する生活」への自発的な転換を促す取組などを指す。	P.50 P.57 P.59
モータリゼーション	自動車の普及に伴う社会的、経済的变化。自動車の普及により公共交通の利用者が減少する傾向。	P.1